

■ 西武信用金庫

025-FY2020-01

西武SDGs応援定期預金の取扱い開始

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則7】

【特徴】

信用金庫の本業(預金)を通じて SDGs の普及促進を図るため企画した定期預金の取扱い開始。

商品性(特徴)は、既存商品『街づくり定期預金』の仕組みを活かしたもので定期預金利息の10%をお客様から天引きさせて頂き、その同額を当金庫も拠出した合計金額を SDGs ゴールに資する活動を当金庫活動エリアで展開する団体等への寄付金の源資とする仕組みであり、お客様の SDGs に対する理解促進と間接的な参画が期待できるものです。

また、情報化社会であることから、より広くの普及促進を狙うため当金庫のネット支店(東京プライベートネット支店)限定での取扱いとし、2020年9月(～2021年1月まで)から取扱いを開始しました。募集の都度、寄贈対象先が取組むゴールを変え(第一次募集は SDGs の4・8・9・11)シリーズ化を予定しています。

025-FY2020-02

SDGsをコンセプトとした「カレンダー＆年賀状アワード」の実施

【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】【原則7】

【特徴】

当金庫顧客に提供する年末媒体品(カレンダー・年賀状)について、SDGs をコンセプトに企画・制作しました。具体的な取組みは下記のとおりです。

1. 公募テーマを「あなたの身近な SDGs な風景」とした。
(SDGs を意識し作成された挿入画を採用する)
2. 公募者を当金庫営業エリアから募るものとした。(業種年齢を特定せずに幅広く募った)
3. 有識者による選考を実施し、入賞された8作品を媒体挿入画に採用した。
(ネームに SDGs をコンセプトにした旨を付記)
4. カレンダーの素材(紙・インク)を環境に配慮したものとした。

【実績】

- ・応募総数79作品。選考により入賞した8作品を媒体挿入画に採用。
(入賞者には今後の活動原資等のために賞金を寄贈)
- ・カレンダーは5万枚、年賀状は8,100枚を製作し、当金庫のお客さまへ店頭等にて配布中。
- ・HPにも公表し、SDGs と本取組みを広く発信するように努めている。

【背景】

地域における民間も含めた様々なステークホルダーの SDGs の認知普及率を高め、理解が進まないことには地域における活動や取組みが創出されづらく、創出されても継続展開されにくくなり、SDGs の達成、地域の持続可能性に支障がでる可能性があるのではないかと推察。

SDGs の認知普及を少しでも向上させたいと思い検討した結果、身近なものでチャレンジしやすい本取組みを実施したものです。

■ 静岡信用金庫

027-FY2020-01

環境基本方針の制定および「せいしん SDGs 宣言」の公表

【原則1】

静岡信用金庫では、環境問題への取組みを企業の社会的責任と認識し、当金庫の取組みが地域社会における環境対策の一助として拡がりを見せることができればと考え、2003 年より様々な環境活動を実施してきました。

2009 年 6 月には、環境問題への取組みに関する基本的な考え方を示す「環境基本方針」を制定し、電力やガソリン、コピー用紙の使用量削減等に継続して取り組んでおります。

(<https://www.seishin-shinkin.co.jp/about/environment/policy.html>)

2019 年 2 月には、これまでの活動を一層強化するとともに、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を経営の柱の一つに加えるべく、SDGs に関する取組方針や重点推進項目をまとめた「せいしん SDGs 宣言」を公表いたしました。

(<http://www.seishin-shinkin.co.jp/about/sdgs/>)

027-FY2020-02

環境配慮型金融商品の取扱い

【原則2】

当金庫は、様々な環境配慮型金融商品の取扱いを通じ、地域の皆さまとともに環境問題に取り組むことを目指しております。主な商品は以下のとおりです。

- ア. せいしん「環境格付融資Ⅱ」・せいしん「地元応援融資 成長サポート」
 - ・省エネ設備等の導入や、環境・エネルギー事業といった成長分野への進出を希望する事業者の皆さまをサポートする融資商品を取扱っております。
- イ. SDGs サポートローン
 - ・事業者の SDGs 取組み支援を目的とし、2019 年 12 月より取扱いを開始いたしました。静岡市の独自制度である「静岡市 SDGs 宣言書」を作成・届出した法人/個人事業主を対象とし、資金使途は「SDGs 達成に向けた取組みに必要な設備資金・運転資金」としました。
- ウ. せいしん自動車ローン「グッド」・せいしん「リフォームプラン」
 - ・エコカー購入や太陽光発電システムなどエコ関連設備等にかかる資金に対し、金利優遇を行っております。
- エ. 環境活動参加型定期預金・SDGs 応援定期預金
 - ・2007 年度より、販売総額の一定割合を環境団体等に寄付する仕組みを取り入れた定期預金を取扱っております。
 - ・2019 年には、SDGs の取組みを地域に普及・促進させることを目的に、定期預金「せいしん SDGs 応援定期預金『GOALSⅡ』」を販売いたしました。この定期預金も、販売総額の一部を SDGs に取り組む団体に寄付する仕組みを取り入れております。その後も『GOALSⅡ』『GOALSⅢ』を続けて販売し、地域の SDGs 取組み普及に努めております。

【特徴】

- ・2007 年度より継続している寄付金総額は 3,883 万円となりました。この寄付金は、県内小学校への出

張環境授業や子供向け普及啓発冊子の作成など、有効にお役立ていただいております。

- ・『GOALS』を成約いただいたお客さまに、「みんなの SDGs 宣言（※）」を記入いただきました。この宣言内容を取り纏めた結果は、SDGs に積極的に取組む静岡市に提供しており、今後の SDGs に関する施策展開に役立てていただく予定です。

（※）SDGs の 17 のゴールの内、関心がある項目または取組む項目を選んで記入するカード

027-FY2020-03

「静岡市河川環境アドプトプログラム」への参加

【原則3】

環境貢献活動の一環として、静岡市と合意書を交わし「静岡市河川環境アドプトプログラム」の活動を継続実施しております。本部全役職員が参加し、安倍川河川敷に散乱しているゴミなどの除去作業を行っております。

027-FY2020-04

営業店独自の活動

【原則5】

当金庫では、本支店に「エコリーダー」を配置するとともに、全役職員をあげて地球温暖化防止に向けた活動を日々計画的に実施しております。

【特徴】

当金庫独自の社内表彰制度「GREEN 表彰」を設け、各店が趣向を凝らして実施した活動を毎年審査・表彰しております。この活動は 2009 年度から取組んでおり、審査に協力いただいている「静岡県地球温暖化防止活動推進センター」より、独自性ある取組みとして高い評価を受けております。

■ 京都信用金庫

034-FY2020-01

「SR・環境宣言」の制定

【原則1】

平成24年6月、「SR（社会的責任）・環境宣言」を制定しました。地域とともにSR・環境活動に取り組むために、当金庫の全役職員及び地域に対してSR及び環境に関する当金庫の基本理念と方針を示すものです。

当金庫は「持続可能な発展への貢献を最大化」することが最重要課題のひとつであることを認識し、「かけがえのない地球環境」を守り、エココミュニティの発展に全力で取り組んでまいります。

034-FY2020-02

環境配慮型金融商品の取扱

【原則2】

個人のお客様向けに「ECO 優遇サービス」や節電支援ローン「エナジーセーブ」といった商品を取り扱っています。また、「ぶなの森」「地球力」など環境に関連する投資信託も取り扱っています。

034-FY2020-03

環境定期預金「みどりの絆」

【原則2】

ナラ枯れ被害から京都の山々を守る京都市の「京都みどりプロジェクト」と琵琶湖の水源である森林を守る滋賀県の「琵琶湖森林づくり基金」を支援しています。平成24年より環境定期預金「みどりの絆」を取り扱い、多くのお客様のご賛同により、京都市及び滋賀県に当金庫より毎年寄付をしています。寄付金は「ナラ枯れ対策等による京都の森林保全事業」（京都市）と「琵琶湖森林づくり事業」（滋賀県）に活用されています。なお、この「京都みどりプロジェクト」と「琵琶湖森林づくり基金」への寄付に対し、京都市と滋賀県より感謝状を授与されました。

034-FY2020-04

環境啓発活動

【原則3】

地域の皆様に当金庫の環境への取組を紹介しながら、ともに環境への関心を高めていただこうと、地域の小学生を対象にした「夏休み子ども環境教室」を開催しています。

034-FY2020-05

森林保全活動

【原則3】【原則4】

①「京都信用金庫 絆の森」

滋賀県の琵琶湖森林づくり条例に基づき、地元の森林組合と「琵琶湖森林パートナー協定」を締結し、地域と協働で琵琶湖の清らかな水を育む森林を守る活動を推進しています。

協定に基づき、組合の所有する森林の一部を「京都信用金庫 絆の森」と名づけ、当金庫役職員とその家族が草刈や植林などの森林保全活動に取り組んでいます。

②「フォレスト・サポーターズ」への参加

平成23年5月より、美しい森林づくり推進国民運動「フォレスト・サポーターズ」に参加しています。

034-FY2020-06

地域の清掃活動

【原則3】【原則4】

① 地域の清掃活動

各店舗で、地域の一員として NPO 法人や町内会など、地域の皆様と協働で近隣の清掃活動を行っています。

② 河川の清掃活動

環境保全活動の一環として、平成 23 年より大阪府と京都府の河川で、NPO 法人をはじめとする地域の皆様とともに清掃活動を行っています。大阪府では交野市と枚方市を流れる天野川において、シジミ、アユ、ホタルが生息できる清流にすることを目標に清掃活動に取り組んでいます。京都府では京都市を流れる桂川と山科川で活動に取り組んでいます。

034-FY2020-07

KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ2SRの認証取得

【原則5】

平成 22 年度より、京都から立ち上がった全国規模の環境マネジメントシステム「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ 2」の認証を取得しています。

さらに平成 24 年 10 月、持続可能な発展への貢献を最大化するために、従来の環境マネジメントシステムに ISO 26000 の要素を導入した新規格「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ 2SR」の認証を全店舗で取得しました。

SR・環境マネジメントシステムの構築により、当金庫の活動及び金融商品・サービスに係る SR 活動の向上及び環境影響の低減を推進し、役職員一人ひとりが積極的に SR・環境活動に取り組んでいます。

034-FY2020-08

環境に配慮した店舗づくり

【原則5】

店舗の新築、改修の際に環境に配慮した店舗づくりを行い、事業活動から生じる環境負荷を最小限に抑えるため、「店舗新築、改修における環境基準」を制定しています。

平成 26 年 4 月に新築オープンした桂川支店では当金庫で初めて屋上緑化に取り組みました。地元の高校生が開発した京都固有のノシバを使った屋上緑化システムを導入し、生物多様性にも配慮しています。

034-FY2020-09

eco検定の受検推進

【原則7】

当金庫では、職員の環境に関する知識の向上と環境問題への対応に強い人材育成のため、「環境社会検定試験（eco 検定）」の受検を推進しています。

eco 検定を通して習得した環境についての幅広い知識を日常業務に活かし、CSR 活動に取り組んでいます。

034-FY2020-10

紙製のショッピングバッグとオリジナルエコバッグをノベルティに採用

【原則5】

プラスチックごみ削減のため、地域の皆様に環境を大切にしてくださいときっかけになればと「紙製のショッピングバッグ」と「オリジナルエコバッグ」の普及に努めています。

034-FY2020-11

「SDGs宣言」の制定

【原則1】【原則2】【原則5】【原則6】

SDGs が目標としている「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に貢献するため、コミュニティ・バンクの理念に基づき本業である金融サービスの提供を中心に地域から世界へ貢献することをめざし、その決意を表す「SDGs 宣言」を 2019 年 8 月に制定いたしました。

034-FY2020-12

職員が健康で働きやすい職場づくりと地域社会への健康経営の推奨

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

コミュニティ・バンクの一員として地域のお役に立つことを考え行動するためには、役職員が健康で楽しく、毎日を「働き甲斐」「生き甲斐」をもって仕事に取り組むことが必要不可欠であり、また役職員とその家族が健康で充実した生活を送ることで最良のパフォーマンスが発揮できると考えています。役職員一人ひとりが生き生きと活躍できる金融機関をめざし、2019 年 11 月に「健康経営宣言」を制定し、役職員とその家族、地域の皆様や地域社会の健康に取り組んでいます。

034-FY2020-13

地域のイノベーションを支援するファンド「イノベーション C ファンド」を設立

【原則2】

当ファンドは、当金庫営業エリア内の起業家やイノベティブなサービスやビジネスモデルにより地域経済の活性化に挑戦する企業へ資金を供給することで、当該企業の成長および社会課題解決等の実現に寄与することを目的としています。地域にイノベーションを起こす企業へのあらゆるサポートを行い、地域の絆づくり活動に取り組んでいます。

034-FY2020-14

世界初の禁煙ソーシャル・インパクト・ボンドへの投資

【原則1】【原則2】

2019 年 11 月に新店舗を豊中市にオープンしたことをきっかけに、豊中市のお客さまへ健康経営の普及を促し地域経済の活性化に貢献していくため、ESG 投資であるソーシャル・インパクト・ボンドに対し投資を行いました。

【特徴】

民間資金を活用して社会課題を解決する新たな民間連携手法であるソーシャル・インパクト・ボンドへの投資は、信用金庫として初めての取組となります。

034-FY2020-15

日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」へ投資

【原則1】【原則2】

2020 年 6 月、独立行政法人日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資を実施。当金庫では、本債権を始めとしたグリーンボンド・ソーシャルボンド（SDGs 債）への投資を継続的に実施することで、今後も社会的役割を果たしてまいります。

034-FY2020-16

ハチドリ電力を導入

【原則 1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】【他】

「ハチドリ電力」とは CO₂ ゼロの実質自然エネルギー100%で、火力発電による排出されていた CO₂ を削減し、地球温暖化の防止に貢献しています。また、NPO 法人を始めとした社会活動に取り組んでいる個人・法人に、電気料金の 1%を支援しています。この環境と社会のより良い未来のために、今わたしたちに出来ることとして「ハチドリ電力」を導入します。

■ 中日信用金庫

036-FY2020-01

「エコ設備投資応援ローン」の取扱い

【原則1】【原則2】【原則3】

愛知県信用保証協会と連携し、省エネ、省電力、環境に配慮した設備投資等の資金について融資する金融機関提案型の商品。他商品より金利の設定を低くしています。また、事業計画策定のお手伝いや、計画の進捗状況のフォローアップ、課題解決のためのソリューションの提供など、必要に応じて外部専門機関とも連携のうえ、顧客の経営支援をしています。(2015 年 8 月～)

036-FY2020-02

エコ定期「私はCO₂削減を宣言します！定期」の取扱い

【原則1】【原則3】

環境省が推進していた「私のチャレンジ宣言」(1 人 1 日 1kg CO₂削減)キャンペーンに賛同し、チャレンジ宣言カードをご持参の方に預金金利を優遇するもの。また、預入残高に応じ当金庫が環境保全団体へ寄付することで、預金者は間接的に寄付に参画できる仕組みとしました。(2007 年 8 月～2008 年 9 月)

【特徴】

この取り組みを通じ「私のチャレンジ宣言」の参加者を増やし、CO₂削減の行動を後方支援しました。

036-FY2020-03

「生物多様性について考えてみませんか定期」の取扱い

【原則1】【原則3】

地元名古屋での COP10 開催(2010 年)を控えた 2009 年、インパクトのある名称の定期預金を取扱い、チラシや店頭で生物多様性に関する情報提供や店内装飾をすることで、当時認知度が低かった生物多様性や COP10 について、地元の関心を高めました。また、預入残高に応じ当金庫が「COP10 支援実行委員会」等へ寄付する仕組みとしました。初回リリースは「国際生物多様性の日(5/22)」としました。(2009 年 5 月～2010 年 10 月)

【特徴】

生物多様性や COP10 について地元で関心を高める契機となり「生物多様性日本アワード」優秀賞を受賞しました。

036-FY2020-04

法人格付における「生物多様性」に配慮した取り組みの評価

【原則1】【原則3】

取引先企業の生物多様性保全に配慮した取り組みを評価し、法人格付に反映する仕組みを導入しました。中小・零細企業が多いため、評価する内容は簡便なものとし、取り組みやすいものにしました。(2010 年 4 月～)

【特徴】

法人格付アップは融資金利が有利になるため、企業の生物多様性保全に配慮した行動の動機付けにつながっています。

036-FY2020-05

エコビジネスローン「元気くんG(グリーン)」の取扱い

【原則1】【原則3】

生物多様性や環境に配慮した取組みに関する資金について、無担保で融資する商品。当金庫の他の無担保商品より金利体系を低く設定しています。また、当該企業の生物多様性や環境に配慮した取組状況によって、さらに金利を優遇しています。(2010年6月～)

【特徴】

企業の生物多様性や環境に配慮した行動を、融資金利優遇の形で後方支援しています。

036-FY2020-06

地元中学校に対する生物多様性参考図書寄贈

【原則1】【原則3】

名古屋市中、当金庫の本支店の在する市町の全公立中学校に対し、生物多様性関連の啓発図書を寄贈しました。(2012年5月)

【特徴】

将来を担う若い世代に対し、生物多様性の重要性に関心をもってもらうきっかけ作りの役割を果たしました。

036-FY2020-07

「つなげよう！生物多様性 定期」の取扱い(2012年2月～2012年4月)

【原則1】【原則3】

「生物多様性について考えてみませんか定期」(2009年5月～2010年10月)のリニューアル版として、取扱いを再開しました。2010年に地元名古屋で開催されたCOP10終了後も引き続き、地域の方々に生物多様性への関心をもっていただく目的で取扱いをしました。「生物多様性について考えてみませんか定期」同様に預入残高に応じ、生物多様性保全を支援する団体等へ寄付する仕組みとなっています。

036-FY2020-08

「みどりいっぱい！ 定期」の取扱い

【原則1】【原則3】

名古屋市等における都市緑化活動等を行っている団体等とタイアップし、当定期預金の取扱いを通じ、都市緑化活動への啓発等を行った。また、預入残高に応じ当金庫がその団体等へ寄付を行う仕組みとした。

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
月	5月～7月	5月～7月	5月～7月	6月～8月	6月～7月	6月～8月	6月～8月	6月～8月

036-FY2020-09

名古屋市で開催される「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」への寄付

【原則1】【原則3】

「ESDに関するユネスコ世界会議」は、環境問題などの現代社会の課題等を身近なところから取組むことを目的としており、地域において話題等にすることに努め、少しでも普及啓発の役に立ちたいと考え、寄付をしました。(2014年6月)

036-FY2020-10

環境に配慮した商品（消費者ローン）の取扱い

【原則2】

- ・「エコカー減税」対象車の新車購入資金に係る自動車ローンについて、低廉な金利・保証料設定での取扱い。（2009年5月～）
 - ・太陽光発電等のエコ関連の購入、設置に係るリフォームローンについて、低廉な保証料設定での取扱い。（2013年1月～）
-

036-FY2020-11

環境配慮型店舗の開設

【原則5】

西春支店開設（2006年10月）をはじめ、清洲支店（2010年12月）、尾張旭支店（2011年12月）、名古屋支店（2013年4月）、名東支店（2014年7月）、中川支店（2015年12月）と、店舗新築の都度、太陽光発電システム、風力発電システム、駐車場の壁面・路面緑化、LED照明設置等、環境に配慮した店舗設計としています。

036-FY2020-12

電動バイクの導入

【原則5】

本店および西春支店に「電動バイク」を3台導入し、二酸化炭素の排出削減に役立てています。（2010年3月～2019年3月）

036-FY2020-13

景品袋の廃止

【原則5】

近年、「プラスチックごみ」による海洋汚染が世界中で問題視されており、コンビニや小売店等でレジ袋が廃止・有料化されたことなどを踏まえ、当金庫においてもSDGsへの取り組みの一環として、石油原料の「景品袋」を廃止しました。（2020年7月）

■ 大和信用金庫

043-FY2020-01

大和川の水質改善応援定期預金「大和川定期預金」の取扱い

【原則2】

全国一級河川の中で、水質ワーストワンが続いていた大和川の水質改善を願い、BOD 値の改善度合いによって、定期預金の金利を上乗せする「大和川定期預金」を 2006 年より取り扱っています。

なお、2020 年度につきましてはコロナ禍であることを踏まえ、募集を見合わせました。

【特徴】

大和川の水質改善が進み、これまでに 10 の環境各賞を受賞しています。

043-FY2020-02

エコ住宅を対象とした住宅ローン及びリフォームローンの取扱い

【原則2】

エコ住宅（①オール電化住宅、②省エネ設備等の設置住宅、③太陽光発電設備設置住宅、④合法木材供給事業者から調達した合法木材使用住宅）を対象とした住宅ローン及びリフォームローンについては、金利を優遇しています。

043-FY2020-03

「クールビズ」及び「ウォームビズ」の実施

【原則5】

平成 17 年度より「クールビズ」及び「ウォームビズ」の実施により、消費電力の削減に取り組んでいます。

また、全店に LED 照明などの省エネ照明を導入しました。

043-FY2020-04

環境に配慮した店舗

【原則5】

2020 年 5 月に新築移転を行った榛原支店に太陽光発電設備を設置すると共に、電気自動車を配備し環境に配慮した店舗としました。

■ 桐生信用金庫

056-FY2020-01

カーボンオフセット通帳の導入

【原則2】

2011年2月より、計6種類の通帳を群馬県内の金融機関で初となる「カーボンオフセット」を利用した環境配慮型通帳に切り替えを行いました。当金庫が発注した通帳の製造工程で発生するCO₂を計量し、その排出量に見合う削減活動を、カーボンオフセットプロバイダーに依頼して実質排出量を相殺（オフセット）させる仕組みです。当金庫では、年間約90,000冊の通帳を発行しており、これにより年間で約4tのCO₂を相殺することが可能となっています。

【特徴】

オフセットの仕組みを通帳に組み入れました。

056-FY2020-02

「地球温暖化防止計画」策定、「環境問題取組方針」の制定、「群馬県環境GS」の認定

【原則5】

当金庫が独自に策定した「きりしん地球温暖化防止計画」に基づき、2008年度より電力・ガソリン・コピー用紙の使用量を毎月全店舗から報告させ、使用量の削減に向けた取組みを行っています。それぞれの目標については、これまで2009年度比▲10.5%を目標としていましたが、すでに目標を大幅に達成している電力、コピー用紙については、独自の目標を設定し、さらなる削減を目指しています。また、2011年度からは、環境問題への取り組み姿勢をより地域の皆さまに知ってもらうため、「環境問題取組方針」を制定したほか、新たな金庫統一の取組みとして、群馬県内の31店舗、3出張所が「群馬県環境GS（ぐんまスタンダード）」に申請・認定を受け、継続15年目となっています。

056-FY2020-03

店舗照明のLED化・太陽光発電システムを導入

【原則5】

移転新築や建て直しをした店舗では、太陽光発電システムや全照明のLED化を進めています。現在、当金庫の太陽光発電システムの導入店舗は8店舗（大泉・玉村・相生・川内・薮塚・久宮・新田・新桐生）、店舗内照明については平成25年5月に新築移転した玉村支店を皮切りに、その後改装や建て替えを行った店舗の照明は全てLEDとしています。

【特徴】

環境負荷の軽減。

056-FY2020-04

出資証券のペーパーレス化

【原則5】

会員としての地位や権利には影響が無いことから、会員にとっては紛失・盗難などのリスクを排除、当庫にとっては発行・受渡・回収にかかる事務リスクの排除やコストの削減、さらに紙の使用量削減を通して、環境への配慮を目的としています。

【特徴】

環境負荷の軽減。

056-FY2020-05

「カッコソウ」の保全活動を目的とした寄付およびロビー展の開催

【原則7】

世界で鳴神山（桐生市・みどり市）^{なるかみやま}だけに生育する大変希少な植物「カッコソウ」の周知と保全活動支援を目的に、200,000 円を桐生市自然観察の森に事務所を置くカッコソウ協議会へ寄付しました。また、桐生市内3店舗に置いてカッコソウのロビー展示も行い、一般のお客さまへの周知にも努めました。

【特徴】

カッコソウは絶滅危惧 IA 類（環境省第4次レッドリスト）に指定されている植物です。

056-FY2020-06

「きりしん SDGs 宣言」の公表および SDGs の推進

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

当金庫では、地球全体の課題を解決し持続可能な社会の実現を目指す SDGs に賛同し、令和元年9月2日に「きりしん SDGs 宣言」を行いました。～みんなで地球を救おう～を合言葉に、当金庫が取り組むべき目標を「地域・連携・環境・ガバナンス・挑戦」の5つのカテゴリーに分類し、それぞれの目標達成を目指します。また、2007年に発足した「CSR 推進委員会」の名称を「SDGs・CSR 委員会」に変更し、現在取り組んでいる CSR 活動と SDGs を統合することにより、当金庫の社会的責任を果たすと同時に地球全体の課題解決に取り組めます。

■ 中央労働金庫

063-FY2020-01

社会的責任投資の取り組み

【原則1】【原則4】【原則5】【原則6】

有価証券の運用において、企業の社会的責任を判断する場合の基本的な考え方である ESG のうち、環境面「E」および社会面「S」を重視し、環境保全や社会配慮などへの取り組みに優れた企業の社債・株式に投資を行っています（2019 年度末残高：約 686 億円）。

【特徴】

社会面（S）は、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の概念を取り入れ、「人材活用」の分野に着目し、「働く人のための金融機関」としての社会的責任に配慮した資金運用を行っています。

063-FY2020-02

日常業務における職員の意識向上の取り組み

【原則1】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

- ① 地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」に賛同登録しています。COOL CHOICE ロゴマークを活用し、節電や階段利用の促進など、役職員の省エネ・省資源の取り組みを促しています。
- ② 5 月～10 月末までの期間において、クールビズを実施し、適切な温度設定に努めています。
また 11 月～3 月末までの期間においては、ウォームビズを実施し、冬季の室温設定適正化に努めています。
- ③ 全職場一斉に定時退勤する「R-DAY」を毎週設定し、管理職を含めて定時退勤（終業後 1 時間以内に執務室の消灯）ができるよう業務調整・管理を行っています。また、節電対策による CO₂ 削減を果たす観点から、通年で 20 時を目安に業務を終了し、消灯・退館する「ライトダウン運動」を導入しています。なお、実施状況は全職場において確認・点検・報告を徹底し、毎月庫内イントラネットで結果を共有しています。

【特徴】

各種日常業務での取組みを通じて職員の省エネに対する意識を高めています。

063-FY2020-03

グリーン購入の推進・ペーパーレス会議の推進

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

事業の事務運営に関わる環境負荷を軽減するため、紙のグリーン購入や庫内会議のペーパーレス化に取り組んでいます。

- ① コピー用紙のグリーン購入
庫内で使用する全コピー用紙は、全ての事業所においてグリーン購入法適合のリサイクルペーパー（古紙パルプ配合率 100%、グリーン購入法総合評価値 92、GPN 掲載用紙）を使用しています。
- ② FSC 森林認証付き名刺台紙の使用
全役職員が FSC 森林認証を受けた名刺台紙を使用しています。
- ③ 庫内会議のペーパーレス化

紙の使用量の削減および会議運営の効率化を図る観点から、紙資料による会議運営を見直し、タブレット端末によるペーパーレス会議を導入・推進しています。

④ 書類・コピー用紙等のリサイクルと再生商品の積極利用

各事務所より排出される機密文書等の書類・コピー用紙の処分について、再資源化が可能な溶解・リサイクルシステムを導入しています。

本店ビルにおいては、再資源化によるトイレットペーパー（金庫排出紙の溶解処理を行っている工場で生産される再生商品）を購入し、積極的に利用しています。

【特徴】

日常業務で使用する紙のグリーン購入やペーパーレス会議の推進に積極的に取り組むことで、環境や社会問題に対する役職員および利用者の意識向上を図っています。

063-FY2020-04

中長期的な環境負荷軽減・省エネ施策等の措置

【原則1】【原則5】【原則6】【原則7】

営業車として電気自動車を3台導入するほか、改正省エネ法に基づく施策として、店舗への環境配慮型設備の導入を推進しています。

- ① 使用電力をモニタリングする「デマンド監視装置」の設置（機器設置可能拠点）
- ② 太陽熱の影響を受けやすい方角に設置されている店舗を対象とした、営業室フロアガラスへの遮熱フィルムの貼付
- ③ 店舗の移転・建替・大規模改修工事における、高効率の空調設備や照明等の積極的な導入

なお、これらの営業店等の各拠点の節電実績（対前年比）は、庫内イントラネットで公表し、拠点における節電意識の向上に取り組んでいます。

【特徴】

積極的な省エネルギー施策により、電力需要の大幅削減を目指しています。

■ 盛岡信用金庫

067-FY2020-01

「もしりんカーライフプラン・エコ」の取扱い

【原則2】

もしりんカーライフプラン・エコを 2010 年 9 月から取扱開始しました。

電気自動車（燃料電池車を含む）、ハイブリット車、低燃費・低排出ガス車等、自動車重量税、自動車取得税が減免される自家用車の購入に利用できるローン商品です。

【特徴】

従来のマイカーローン（当金庫商品名：カーライフプラン）に比べ低廉な融資保証料の適用により、エコカー普及に寄与するものです。

067-FY2020-02

住宅ローン金利に、自然エネルギー関連設備、環境配慮型住宅設備設置の優遇項目の設定

【原則2】

3 年・5 年・10 年固定期間選択型および、最長 35 年間固定型金利プランに関し、再生エネルギー関連設備設置（太陽光発電設備、風力発電設備、地下熱利用設備、ペレットストーブ等）、環境配慮型住宅設備設置（エコキュート、エコジョーズ、エネファーム等）の場合、基準金利からそれぞれ 0.05%金利優遇を行っています。

【特徴】

金利優遇制度による持家意識の助長、自然エネルギー関連設備の普及により低炭素型社会の形成に取り組むものです。

067-FY2020-03

「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援

【原則3】

当金庫では、再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進、支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取り組んでいます。

地域内での促進を図るため、自治体等への提案を行い地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として域外へ流出していた資金を域内で循環させていくエネルギー版「地産地消方式」を積極的に促進していきます。これらにより、新たなビジネス、雇用を創造すると共に地域の活性化を目指していきます。

なお、紫波中央駅前の再開発（オガールプロジェクト）において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅への木質バイオマスを利用した地域熱供給事業を行うための、エネルギーステーション建設計画を支援しました。

【特徴】

公共施設や企業、家庭などへ最適な自然エネルギー設備を選定、設備の設置・保守・運営を行い、低炭素社会・循環型社会による CO₂削減と地域活性化に貢献するものです。

067-FY2020-04

「もしりん共存同業の森」

【原則4】

森林整備を行うことにより、水源涵養などの森林の公益的機能の向上を目的として、平成 23 年 11 月、紫波町と「紫波企業の森づくり」活動の協定を締結しました。

間伐により発生した木材は、木質チップとして再資源化することにより、地域資源の有効活用に繋がります。この活動は、平成 24 年から 15 年間にわたり実施し、紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環となります。

令和 2 年度は、10 月 24 日に第 9 回「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動を実施しました。今般の新型コロナウイルス感染防止のため、例年実施していた丸太・小枝等の搬出作業は中止し、当金庫役職員 32 名参加による「紫波町の森林資源循環の取組」について講義受講、「もりしん共存同栄の森」現地視察、地元温泉館「再生可能エネルギー施設」見学、「令和の森」植樹を行い、環境保全の理解を深めました。

【特徴】

森林の再生に繋がると共に、伐採材をバイオマス利用し、同地温泉施設のチップボイラーの燃料として使用することで、木質材料を利用した供給から消費までのサプライチェーン化が図られるものです。

067-FY2020-05

カーボンオフセット通帳・証書の導入

【原則5】

当金庫の定期性預金証書および普通預金・総合口座通帳等の製造過程において、年間約 395-kg の二酸化炭素（CO₂）排出量を削減しております。

【特徴】

地産地消型のカーボンオフセット通帳を特徴としています。

067-FY2020-06

「森林再生活動」の取り組み

【原則7】

平成 20 年より、荒廃裸地化した鉾山跡地を森林に戻そうと「八幡平松尾鉾山跡地」の森林再生活動に取組んでいます。

これまでに 285 区画 1,011 本の苗木を植樹し、最初に植樹した苗木は 9 m を超える樹木に成長したものもあり、少しずつ森が形成されています。

【特徴】

職員の環境意識向上により、森林再生による CO₂ 削減、環境保全が期待できます。

067-FY2020-07

夏季および冬季節電対策の取り組み

【原則7】

政府からの「電力供給対策（要請）」および「信用金庫の環境問題への取組みに関する指針」に基づき、平成 22 年度より電力使用量削減に取り組んだ結果、平成 22 年度比 29.29%使用料削減となりました。近年、東北地方においても夏場の気温上昇が続いており、電力使用量も増加傾向にありますが、今後もクールビズ・ウォームビズの実施、室温設定（夏季 28℃、冬季 20℃）、照明・OA 機器等の節電に取り組んでまいります。

【特徴】

日常業務における実践を通し、環境や社会問題に対する意識向上を図っています。

■ 豊橋信用金庫

076-FY2020-01

環境保全に対応した商品の取扱い

【原則2】

・「オール電化住宅ローン」「エコガス住宅ローン」の取扱い

オール電化住宅等の省エネ住宅の新築や購入、増改築資金に対して 3 年間、当金庫所定の金利から 0.2%の引下げをしています。

・「リフォームプラン・エコ」の取扱い

エコ関連設備の購入・設置資金およびそれに伴うリフォーム資金などに対して、2.80%（保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしています。

・「カーライフプラン・エコ」の取扱い

エコカー減税対象車の新車購入資金に対して、2.40%（最優遇金利 2.00%、保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしております。

・「エコ応援定期預金」の取扱い

省電力、節電に取り組むお客様を応援するため、①前年の同月と比べて、電気使用量が削減された世帯の方もしくは②太陽光発電システム、エコジョーズ、エコフィール等のエコ関連設備投資を現金 10 万円以上で行った世帯の方を対象として、スーパー定期 1 年ものの店頭表示金利に 0.05%の上乗せ（1 人あたり 100 万円以内）をしています。

・「エコ応援ローン」の取扱い

太陽光発電システム、エコジョーズ、エコフィール等のエコ関連設備資金（借換にはご利用できません）に対して、当初 3 年間 1.20%・4 年目以降は 1.50%（保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしています。

076-FY2020-02

エコキャップ推進運動

【原則3】【原則5】

2011 年 5 月から、環境改善への取組みの一環として、ペットボトルのキャップを回収し、再資源化を促進する「エコキャップ推進運動」を開始しました。

回収したキャップを再資源化することで二酸化炭素の発生が抑制でき、また、再資源化により得た収益金は、発展途上国の子どもたちへのポリオワクチン提供に役立てています。

回収ボックスは、全営業店、本部、お客様相談所など計 36 ヶ所に設置しています。

回収累計は、2020 年 9 月末現在で 1,742 万個を超えました。

076-FY2020-03

その他の取組み

【原則3】【原則7】

・530（ごみゼロ）運動の実施

1975 年より春と秋の年 2 回、全役職員が地域の清掃奉仕活動に参加し、環境美化に取り組んでいます。

※2020 年春は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し中止

・「朝倉川育水フォーラム活動」への参加

牛川支店をはじめ近隣 4 店舗の職員及び とよしんボランティア部の職員が、河川の再生と環境改善に取り組む活動へ参加しています。

・エコ検定の受験を奨励

環境問題に対する意識向上のため、東京商工会議所が主催する「エコ検定」の受験を奨励し、2020 年 9 月末現在で 498 名の役職員が合格しています。

076-FY2020-04

環境保全への取組み

【原則5】

環境保全のため地球温暖化対策として「エコアクション 15%」の活動を展開しています。電気使用量については、2013 年度から 2017 年度は基準年度（2006 年度）比 15%削減を目標に、2018 年度以降は 2030 年度に向けた新たな業界数値目標を基に、新たな基準年度（2009 年度）比 19.00%削減を目標に数値目標を設定し活動しています。

また、CO₂排出削減のため「クールビズ」および「ウォームビズ」を実施しています。車両燃料（ガソリン）、ガス、コピー使用量については、2013 年度から 8 年間で基準年度比 15%削減を目標に数値目標を設定し、役職員が一丸となって環境改善に取り組んでいます。

076-FY2020-05

環境配慮型店舗の開設

【原則5】

2010 年 6 月に新城支店、2011 年 1 月に田原支店、2012 年 1 月に問屋町支店、2014 年 6 月に豊川支店、2018 年 12 月に大岩支店を環境配慮型店舗として新築オープンしました。環境面への配慮として、5 店舗とも太陽光パネル付 LED 外灯の設置や一部照明に LED を採用（豊川支店、大岩支店はロビー・営業室にも LED を採用）し、田原支店、問屋町支店、豊川支店、大岩支店には、断熱性能が高い複層ガラスや省エネ型照明機器（初期照明補正機能付蛍光灯）、雨水利用システムを採用しています。駐車場には夏場の温度上昇を低減させる浸透性・保水性舗装を採用（豊川支店は採用せず）しています。

また、問屋町支店には、新たに LED 内照式ポール看板を設置しました。

076-FY2020-06

電気自動車の導入

【原則5】

本店営業部の営業用車両に「電気自動車（日産：リーフ）」を導入しました。導入した電気自動車は、ガソリンをまったく使用せず電気だけで走行可能（8 時間の充電により約 200 キロ走行）なため、二酸化炭素を排出しない環境にやさしい自動車となっています。

2017 年 2 月に本部の営業用車両にガソリンエンジンで発電し、蓄電された電気で走行する環境にやさしい低燃費モデルの自動車を 6 台導入しました。

076-FY2020-07

SDGs 宣言の表明

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

【特徴】

日々の信用金庫活動を SDGs に結びつけ、「経済」「社会」「環境」の分野に関する取組みを通じ、当金庫の基本方針のもと、地域金融機関として地域社会の課題解決を実践し、持続可能な社会の実現に向けた活動することを示すものとして、2020 年 4 月に「豊橋信用金庫 SDGs 宣言」を表明しました。「経済」では“地域産業の持続的な成長”、「社会」では“持続可能な地域づくりへの貢献”、「環境」では“環境保全のための地球温暖化への対応”として、3 つの分野に関連付けて取組んでいます。

2020 年 7 月からは、地方自治体が創設した「SDGs パートナー制度」に登録された企業を対象とする「SDGs ローン」の取扱いを開始しています。

■ 二本松信用金庫

093-FY2020-01

環境配慮型金融商品の取扱

【原則2】【原則4】

環境問題に積極的に取り組む企業を投資対象とした「損保ジャパングリーンオープン（ぶなの森）」など環境に関連する投資信託を取り扱っています。

平成 24 年 11 月より、太陽光発電システムをはじめとする、「再生可能エネルギー事業支援融資」の取扱を開始し、地域企業などの環境配慮への意識向上に資することを目指しております。また、持続可能な社会の形成の達成に向けて、「しんきん SDGs 私募債（寄附型）「ちいきのミライ」、

しんきん SDGs 私募債（福利厚生型）「ベネフィットサポート」の取り扱いを開始しております。

093-FY2020-02

地球温暖化防止に取り組む「福島議定書」事業への参加

【原則1】【原則5】【原則7】

当金庫では、地球温暖化防止に向けて福島県内事業所が自主的目標を定めて取り組む「福島議定書」事業に参加しています。

平成 19 年度よりクールビズ、ウォームビズを実施し、二酸化炭素排出量の削減等地球温暖化対策に努めております。

093-FY2020-03

エコキャップ収集活動

【原則4】【原則7】

本部及び全営業店で、職員及びお客様からペットボトルのキャップを回収し、再資源化による環境保全や、発展途上国の子どもたちへのポリオワクチン提供に役立てています。

■ 大阪厚生信用金庫

097-FY2020-01

クールビズ、ウォームビズ、緑のカーテン

【原則1】【原則5】

大阪厚生信用金庫では、「Fun to Share」に参加するとともに、地球温暖化防止対策の一環として、「クールビズ」「ウォームビズ」を実施しています。また電力不足と猛暑に備え、植物の葉で窓などを覆って日光を遮る「緑のカーテン」に取り組んでいます。

(<http://www.co-sei.co.jp/topics/coseiecocoolbiz.html>)

(<http://www.co-sei.co.jp/topics/coseicowarmbiz.html>)

(<http://blog.goo.ne.jp/sheshenina/c/45e795389950f7a45e0253dcd279a8c>)

097-FY2020-02

エコ定期「わかば」、地球温暖化対策支援ローン「こうせいエコ計画」

【原則2】

エコ定期「わかば」の期末の預入残高に応じて、大阪府みどりの基金へ寄付を行い、大阪府の緑化の推進および良好な自然環境の保全に協力しています。

097-FY2020-03

エコ blog

【原則6】

大阪厚生信用金庫は、環境関連の活動として行っている様々な取組みを、「エコ blog」として紹介しています。(<http://blog.goo.ne.jp/sheshenina>)

097-FY2020-04

小学生対象のミニバスケットボール大会の開催支援、少年野球教室、教育についての講演会の開催

【原則7】

地域の子供たちの健全な育成、地域スポーツの活性化を願い、平成 25 年より地域のミニバスケット連盟主催の大会に特別協賛しています。「CO-SEI CUP」と名称し、この大会の出場を目指し、大阪市内の約 150 チーム、約 3,000 人の小学生が予選を戦います。この大会は地元のプロバスケットボールチームの後援も得て、地域を盛り上げる取り組みとなっています。また地域の子供たちの心身の健全な育成に貢献できるように、当金庫野球部員による「ふれあい少年野球教室」や、創業 95 周年記念（平成 29 年度）には尾木直樹氏・アグネス・チャン氏を招いての講演会も開催し、入場料を「大阪教育ゆめ基金」へ寄付する等の取り組みを行っています。感染症拡大防止の観点から、2020 年度の取組みは中止いたしました。今後状況を見て再開する予定です。

【特徴】

当日の運営補助について、職員の中よりボランティアを募集し、地域貢献活動を行っています。

097-FY2020-05

CO-SEI チャリティコンサートの実施

【原則3】【原則4】【原則7】

平成 21 年から、当庫では「CO-SEI チャリティコンサート」を開催しています。こちらは、大阪の緑化

の推進や良好な自然環境の保全を通じて、地域社会に貢献することを目的としたものです。当庫の役職員だけでなく、当庫のお取引先や地域の方々にも多数ご来場いただいております。約 1,200 名様のチケット代金と当日の募金は「大阪府みどりの基金」へ全額寄付しています。感染症拡大防止の観点から、2020 年度の実行は中止いたしました。今後状況を見て再開する予定です。

097-FY2020-06

ソーラーパネルの設置

【原則5】

当庫では、店舗の屋上にソーラーパネルを設置し、CO₂削減を推進しています。既存店舗だけでなく、新店舗にも積極的にソーラーパネルを導入しており、環境負荷の軽減に努めています。

097-FY2020-07

夏期早帰り運動

【原則5】

節電の取組みとして、当金庫では 7～11 月の業務終了時間を 15～30 分繰り上げています。始業時間は変更していません。この取組み実施以前から夏期は定時退庫を励行していましたが、より節電を意識するために、現在では業務終了時間を繰り上げています。昨年度までは 7 月、8 月の 2 ヶ月間のみ取り組んでいましたが、業務効率化推進や感染症への感染リスク低減策として、今年度からは 7～11 月の 5 ヶ月間に延長して取り組むこととしました。昨年度は、この取組みによって 7 月、8 月の 2 ヶ月間で時間外勤務時間数を約 6,000 時間減らすことができ、電力使用量を大幅に削減しています。

097-FY2020-08

SDGs宣言

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

2019 年 4 月、当金庫は SDGs に取り組むことを宣言しました。当金庫では「地域金融の使命を自覚し、地域社会の繁栄に貢献する」ことを経営理念の一つとして掲げており、これは、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」と目的を同じくするものだと考えています。地域の発展・成長をより一層進めることにより、地域社会の一員として持続可能な社会の実現に努めてまいります。

097-FY2020-09

感染症対策の実施

【原則1】【原則7】

当金庫は、お客さまにご使用いただくための消毒液の店舗備えつけや、窓口でのアクリル板設置など、新型コロナウイルス等の感染症対策に努めています。また、職員からお客さまへの感染を防ぐだけでなく、職員の感染を防ぐため、金庫内の通達等を通じて全職員に感染症対策の意識向上を繰り返し呼びかけています。

097-FY2020-10

小学生ソフトボール大会、小学生ドッジボール大会への協賛

【原則7】

当金庫は、2020 年度から新たに「春季全日本小学生男女ソフトボール大会」へ協賛しています。この大会は全国大会出場につながる大きな大会です。新型コロナウイルス感染拡大の影響でスポーツ大会は中止されることが多くなっていますが、こうした状況下でも、十分に距離をとることのできる屋外スポーツを応援することで地域の子供たちの健全な育成、地域スポーツの活性化に貢献できると考え、同大会へ協賛

することとしました。大会当日は当金庫職員も多数ボランティアスタッフとして応援に駆けつけ、大会を盛り上げるお手伝いをしています。

また、当金庫は2019年度から「春の全国小学生ドッジボール選手権大阪府大会」に協賛しています。この大会は全国大会につながる大会であるとともに、多くの6年生にとっては小学生として臨む最後の大きな大会でもあります。この大会でも、当金庫職員がボランティアスタッフとして大会を盛り上げるお手伝いをしています。

■ 長野県労働金庫

098-FY2020-01

環境に配慮した融資商品の取扱い

【原則2】

環境の保護・保全に取り組む方への支援を目的として有担保住宅ローンについて当金庫所定の金利より一定の金利引下げを実施しています。

- ・金庫が指定するエコ住宅に該当する場合
- ・長野県が定める「長野県 CO₂ 固定量認定制度」の物件に該当する住宅の場合

098-FY2020-02

被災者支援の取組み(主には令和元年台風 19 号により被災された方への支援の取組み)

【原則3】

これまで災害等で被災された方を対象に、低金利にてご利用いただける「災害救援ローン」を取扱いしておりましたが、令和元年台風 19 号の影響により被災された方々への緊急措置として住宅等に被害を受けられた方への「災害救援住宅ローン」の制度を一部見直し、被災者の皆さまがよりご利用しやすい制度としました。

また、従来の被災者支援に加え、今回における長野県広域にわたる甚大な被害に対応するため、平日・休日における営業店・ローンセンターにおける特別相談窓口の設置、ご返済猶予の個別的対応、被災者の方がローンを利用していた場合における金利負担軽減（キャッシュバック）を実施いたしました。

その他として、長野県に対する義援金の寄贈、各営業店において被災された会員組織への個別的支援、義援金振込に関する系統内・一部系統外の為替手数料の免除、役職員からの緊急カンパ金・募金等の対応他を緊急的に取組みました。

098-FY2020-03

環境に優しい店舗づくり

【原則5】

店舗新築時に太陽光パネルの設置や地中熱の利用を行っている他、全店舗において LED 照明を使用しています。

098-FY2020-04

長野ろうきん「こども基金」を通じた子育て支援の取組み

【原則 1】

当金庫では、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、地域の子どもに関する課題解決に取り組んでいる中間支援組織（NPO 等の非営利団体）と連携し、長野ろうきん「こども基金」を通じて、長野県内の子育て世帯を応援する取組みを支援しています。

具体的には、お客様が当金庫のローン商品をご利用いただいた件数に応じた金額を当金庫が拠出し、地域の支援団体に助成をしています。

098-FY2020-05

新型コロナウイルス感染拡大に対する対応

【原則3】

① 生活応援プロジェクト

コロナ禍における外出自粛等が求められたなか、自宅にしながら「わたしたちにできること」をコンセプトに、信州に住む多くの方々と共に取組むことができる参加型プロジェクトを企画（①窓口に来店することなくインターネットバンキング専用定期預金での預金受入れ、②特典を付したアプリ契約の促進など）し、2020年夏季に実施しました。（2020年冬も同様プロジェクトを実施中）

2020夏季の取組みの成果として、上記1取引あたりの新規件数に応じて寄付額を定め、その総額（125万円）を災害被災支援NPO団体及びフードバンク支援を行うNPO団体に寄贈しました。

② 新型コロナウイルス感染に対応する勤労者支援（融資取引他）

新型コロナウイルス感染拡大による経済的影響に伴う収入の減少や、止む無く離職された方を対象とした、無担保かつ低金利の「新型コロナウイルス緊急生活応援融資」の利用促進に取組みました。

合わせて、現在当金庫へご返済中の融資に関する各種相談の受付、及び、返済等の見直しについても前向きに取り組みました。

その他として、上記①の生活応援プロジェクトにご協力された方、ご返済の相談をされた方全員には、新型コロナウイルス感染防止に関連するノベルティを配布し、うつらない、うつさないの感染拡大防止にお役立ていただく対応に努めました。

③ フードバンクの取組み

コロナ禍における県内小中学・高校等に対する休校要請等により、児童や生徒の自宅における食事機会が増加し、その食事への支援を必要とする家庭に対する食糧確保の取組みを行うNPO団体（フードバンク信州）と連携した食糧支援（フードドライブ）の取組みを行いました。

具体的には、当金庫役職員が主体となったフードドライブを企画し、緊急事態宣言が出された直後（2020年3月、4月）において2回にわたり実施を行い、県内児童や生徒に対する生活応援に微力ながらお手伝いをしました。

■ 新潟信用金庫

102-FY2020-01

マイカーローンでの、環境対策自動車(低公害車)お申し込みで、金利引下げを実施

【原則2】

新潟信用金庫では、環境対策自動車(低公害車)でのマイカーローンのお申し込みで、金利年0.20%の引下げを実施しています。

102-FY2020-02

クールビズ・ウォームビズの実施、およびディスクロージャー誌・通帳・証書等への「植物性大豆油インク」の採用

【原則5】【原則7】

新潟信用金庫では、クールビズ、ウォームビズを実施しています。また、ディスクロージャー誌・通帳・証書等には、順次、環境に配慮した「植物性大豆油インク」を採用しています。また、一部通帳には、紙100%で出来た通帳表紙を使用することで、製造過程において発生する切れ端が新たな資源に生まれ変わる「エコクロス通帳」を採用しています。

102-FY2020-03

粗品用手提げ袋の原料としてバイオプラスチックを利用

【原則5】

新潟信用金庫がお客様に提供する粗品用手提げ袋の原料をプラスチックからバイオプラスチックへ順次変更する。

■ 高崎信用金庫

103-FY2020-01

たかさきアダプトまち美化活動の取組

【原則3】

平成 26 年 7 月の当金庫創立 100 周年に向けた活動として、地域の環境保全に一層取り組もうと、平成 23 年 5 月より、地元の河川である烏川の清掃活動に継続的に取り組むこととしました。

活動開始にあたり、当金庫では、高崎市が実施する「たかさきアダプトまち美化活動事業」ならびに国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所が実施する「アダプトプログラム烏川・神流川」において協定を締結し、地域や関係機関と連携した清掃活動を実施することとしました。

活動場所は、高崎市内を流れる烏川の和田橋から聖石橋球場までの河川敷および土手の約 1 キロの範囲です。

実施は年間 3 回で、空き缶やたばこの吸い殻などのゴミ拾いが主な活動内容です。なお、最近の活動実績は以下のとおりですが、令和 2 年は新型コロナウイルス感染拡大のため活動は中止しております。

第 26 回清掃活動...平成 31 年 3 月 9 日(土) 実施 参加者 57 名

第 27 回清掃活動...令和 1 年 7 月 27 日(土) 雨天中止

第 28 回清掃活動...令和 1 年 10 月 26 日(土) 台風中止

【特徴】

本活動の特徴は、「アダプト」という仕組みを活用しているところです。「アダプト」とは、「養子縁組」という意味で、地域住民が「里親」となり。河川・道路・公園などの公共的スペースの一定区間を「養子」に見立て愛情と責任を持って美化（清掃）活動を行い、これを行政が支援する制度です。

また、地域の皆さまに本活動を知っていただき、地域の環境美化に少しでも繋がればとの思いから、活動時にはお揃いのスタッフジャンパーまたはポロシャツを着用し、活動を PR しています。

103-FY2020-02

マイカーローンのエコカー金利優遇

【原則3】

マイカーローン（たかしんカーライフプラン、たかしん自動車ローン「モア」）をご利用の際、エコカーを購入される方に対して金利を 0.3%引き下げています。

【特徴】

利用者にわかりやすくするため、対象となるエコカーは車種や構造ではなく「エコカー減税対象車」としています。

103-FY2020-03

住宅の省エネ改修のための金利優遇ローン

【原則3】

住宅の省エネ改修に対して金利を優遇したリフォームローン（たかしん目的ローン「エコリフォームプラン」）をご用意しています。

【特徴】

たかしん目的ローン「エコリフォームプラン」（変動金利）については優遇金利を適用した場合、他のたかしん目的ローンより金利が低くなるよう設定しています。

103-FY2020-04

環境保全活動に貢献するカードローン「たかしん エコきゃっする」

【原則3】

新規契約1件につき100円を環境団体に寄付（当金庫負担）することで環境保全に貢献することをコンセプトとした商品です。

【特徴】

平成19年の発売以来、年度単位で新規契約数に応じた金額を（社）群馬県緑化推進委員会の「緑の募金」に寄付しております。

令和元年度分は4,400円を寄付し、寄付した総額は544,100円になりました。

103-FY2020-05

平成24年8月より群馬県吾妻郡にある株式会社吾妻バイオパワーが運営する「吾妻木質バイオマス発電所」で発電されたグリーン電力を利用して作成した定期積金通帳と現金封筒を導入し、平成26年3月に総合口座通帳、平成29年10月は定期預金通帳についても導入しました。

【原則5】

グリーン電力とは、自然エネルギーや再生可能エネルギーにより発電された電力のことです。木質バイオマス発電もそのひとつで、建設廃木材や公園・街路樹などの剪定作業で発生する剪定枝などをチップ状に砕いた木質チップを燃料として発電しています。樹木は成長過程で光合成により大気からCO₂を吸収するため、木質チップを燃やした時にCO₂を排出しても、全体としてCO₂量は増加しないことになります。このようにCO₂を吸収する量と排出する量がプラスマイナス・ゼロになることをカーボンニュートラルといい、地球温暖化の防止につながります。

【特徴】

グリーン電力の利用とは、当金庫が発注した通帳および封筒の製造工程や印刷工程で使用する電力量を受注先が計量し、当金庫がその使用電力量に相当するグリーン電力の環境価値を買取することで、結果として環境にやさしい電力を使用して通帳や封筒を製造・印刷したとみなされる仕組みです。

103-FY2020-06

信用金庫業界の環境自主行動計画の推進

【原則7】

平成20年度から24年度までの5年間で、電力、ガソリン、紙の使用量を平成18年度比6%以上減とすることを目標に削減に取り組みました。新たに平成25年度から令和2年度を「第一計画期間」として、電力、紙の使用量を平成21年度比10.5%以上減とすること、令和3年度から令和12年度を「第二計画期間」として、同年度比19%以上減とすることを目標に取り組みます。

【特徴】

全店でCO₂排出量削減の取り組み、「第一計画期間」の8ヵ年計画の実効性を確保しています。

LED照明の導入

本店営業部をはじめ、28ヶ店舗の営業室にLED照明を導入しており、営業室以外についても順次LED照明への切り替えを行っています。

電気自動車の導入

二酸化炭素を排出しない電気自動車を営業活動用として6台配備しております。

LED照明や電気自動車の導入により、省電力・省エネルギーを推進しています。

103-FY2020-07

「高崎信用金庫 SDGs 宣言」の制定

【原則3】【原則5】【原則7】

当金庫は、地域金融機関として当金庫の取組みについて、SDGs との強い関係性を確認し、今後、さらなる取組みの強化により、SDGs の達成に向けて貢献することを宣言した「高崎信用金庫 SDGs 宣言」を令和元年 8 月に制定いたしました。

【特徴】

当金庫の取組みと SDGs との係わりについて、下記の 4 つの重点項目に区分し、それぞれの取組みを強化して、SDGs の達成に向け貢献してまいります。

① 地域経済の活性化

地域における金融サービスの提供と、地元中小企業の皆さまへの経営支援を通じて、地域経済の活性化に貢献してまいります。



② 地域社会の繁栄

広く地域社会のお役に立つ活動に取り組み、地域の皆さまへの豊かな暮らしのお手伝いをしてまいります。



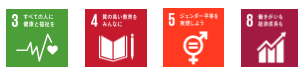
③ 環境保全

地球にやさしく社会と融和した金融機関を目指し、地球の豊かな環境保全に取り組んでまいります。



④ 人材育成

すべての職員が輝くための組織づくりに向けて、地球や地域のお客さまの課題解決を担う人材の育成や、働き方改革等に取り組んでまいります。



■ 兵庫信用金庫

110-FY2020-01

クールビズ・ウォームビズの実施

【原則1】【原則5】

本部・事務センター・全営業店において、クールビズ・ウォームビズを実施。

【特徴】

クールビズ・ウォームビズの実施にて、省エネルギー推進、職員の意識向上に努めています。

110-FY2020-02

カーボンオフセット通帳の使用

【原則1】【原則5】

環境に配慮したカーボンオフセット通帳を使用し、CO₂排出の削減に寄与しています。

【特徴】

カーボンオフセット通帳の採用により、CO₂削減に取り組んでいます。

110-FY2020-03

LED照明の設置

【原則1】【原則5】

東灘支店・西飾磨支店の店舗照明を LED 照明に切り替えしました

【特徴】

省エネルギー化に積極的に取り組んでいます。

110-FY2020-04

社会貢献活動

【原則4】【原則7】

- ・「姫路城清掃活動」に職員とその家族（約 70 名）が参加し、地域の清掃ボランティア活動に協力しました。
- ・全店に「緑の募金箱」を設置し、年 2 回、兵庫県緑化推進協会に募金を振込しています。

【特徴】

地域社会への貢献活動として継続して実施しています。

■ 城南信用金庫

112-FY2020-01

LED照明を導入

【原則1】

営業店に LED 照明を導入（累計 85 店舗に導入）。

【特徴】

LED 照明の導入により、省電力、省エネルギーを推進します。

112-FY2020-02

営業店の屋上にソーラーパネルを設置して発電を実施

【原則1】

本店、事務センター、羽田支店、奥沢支店、中野支店、高円寺支店、溝ノ口支店、生田支店、綱島支店、鶴見支店、の屋上にソーラーパネルを設置し発電を実施。

【特徴】

ソーラーパネルの発電により、省電力、省エネルギーを推進します。

112-FY2020-03

「節電プレミアムローン」の取扱い

【原則2】

ソーラーパネルの設置費用、蓄電池の設備費用、自家用発電機の設置費用等、省電力に関連する設備投資のためのローンに対して、当初 1 年間は 0.0%（無利息）、2 年目以降は 1.0%（固定金利）の利率を適用。

対象者：個人

金額：50 万円以上 300 万円以内

期間：3 年以上 8 年以内

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-FY2020-04

「節電プレミアム預金」の取扱い

【原則2】

ソーラーパネルの設置、自家用発電機の購入、蓄電池の購入、LED 照明への切り替え等、省電力に関連する 10 万円以上の設備投資を行ったお客様に対し、定期預金金利 年 1.0%を適用。

対象者：個人

預入金額：1 世帯につき 100 万円まで

期間：1 年

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-FY2020-05

節電・新エネルギー推進ビジネスローン「エナジーシフト」の取扱い

【原則3】

ソーラーパネルの設置費用、蓄電池の設備費用、自家用発電機の設置費用等、省電力に関連する設備投資のための中小企業向けローンを取扱開始。「ISO 14001」または「エコアクション 21」の認証を取得している場合 0.2%金利優遇。

対象者：法人または個人事業者

期間：15 年以内

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-FY2020-06

最新環境技術を駆使した省エネ店舗の設置

【原則5】

自然エネルギーの活用によりエネルギー使用量の削減をめざした環境に配慮した負荷の少ない設計による新店舗を設置している（羽田支店、奥沢支店、高円寺支店、生田支店、綱島支店、鶴見支店、）。

【特徴】

環境負荷の少ない建築技術により省電力、省エネルギーを推進する。

112-FY2020-07

「RE100」に加盟

【原則1】【原則4】

事業活動で使用する電力を 100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が参加する国際イニシアティブ「RE100」に国内金融機関で初めて加盟し、バイオマス発電による電力への切り替え、J クレジットの購入による CO₂ のオフセットにより、2019 年 7 月に国内企業で初めてその目標を達成した。

【特徴】

使用電力を 100%再生可能エネルギーにするとともに金融業界の再生可能エネルギーに対する意識向上を図る。

■ 愛媛信用金庫

114-FY2020-01

環境方針の制定および環境マネジメントシステム「ISO 14001 認証」の取得

【原則1】

愛媛信用金庫は、平成 20 年 12 月、役職員の環境保全に対する行動の指針となる環境方針を制定し、役職員全員で環境保全のための活動に取り組んでいます。平成 21 年 3 月には、愛媛県内に本店を置く金融機関として初めて環境マネジメントシステム・ISO 14001 認証を取得しました。

【特徴】

愛媛信用金庫の環境方針や環境自主行動計画に基づき、全役職員が当事者意識を持って各施策に取り組んでいます。各部店における取組み状況については、監査部による内部監査時に検証し、必要に応じて指導を行うなど、実効性の向上に努めています。

114-FY2020-02

環境配慮型商品の取扱い

【原則2】

地域の皆さまの環境保全活動を支援するため、環境配慮型商品を取り扱っています。一部の商品は、インターネットでも申し込むことができます。（<http://www.shinkin.co.jp/ehime/eco/index.html>）

- ・カーライフローン・エコ

エコカー（新車）購入資金、パーツ・オプションの購入・取付費用などにご利用いただける商品です。

- ・エコリフォームローン

太陽光発電システム等エコ関連設備の購入費用および設置費用、修繕費用などにご利用いただける商品です。

- ・あいしんエコサポートローン

法人および個人事業主のお客さまに、低公害車、太陽光発電システムなどの購入費用や設置にかかる費用、公害防止施設・環境保全施設等の建設資金などとしてご利用いただける商品です。また、環境保全の取組みについて第三者から認定・認証を受けているお客さまの運転資金や設備資金にもご利用いただけます。

【特徴】

環境保全に資するための資金に特化した低金利の商品を開発することで、地域におけるエコ意識の高揚と太陽光発電システムの普及に努めています。

114-FY2020-03

3S徹底活動

【原則3】

役職員全員で 3S を推進し、ムリ・ムラ・ムダを省くことで働きやすい職場環境づくりや業務の効率化に努めています。活動を通じて集まった余剰品（使用可能な事務用品など）は、NPO 法人へ寄贈し、海外への支援物資として活用いただくなど、使用資源や廃棄物の削減に努めています。

また、経営改善支援の一環として、地域の中小企業等に対して「3S（整理・整頓・清掃）診断」を行い、経営者および従業員が自ら「ムダ・ムラ・ムリ」の削減を推進する職場づくりを支援しています。具体的には、①診断実施、②診断報告レポート（30 頁程度）を報告し、全従業員参加のもと報告会を開催、③要

望により継続的活動のための個別支援（実行状況の点検を含む）を行っています。

【特徴】

3S は、企業にとって基本的な活動であり、専門知識や技術も必要ないことから、どのような企業でも取り入れることができます。全従業員による 3S への取組みを推進することで、エネルギー消費や廃棄物の削減に繋がり、経営力の強化にも繋がります。

114-FY2020-04

環境にやさしい店舗づくり

【原則5】

店舗建物を新築する際には、環境に配慮し、太陽光発電システム設備や LED 照明、温度保持効果の高い複層ガラスなどを導入しています。事務機器等についても、環境配慮型の機器へ順次入替を行っています。そのほか、クールビズやウォームビズの実施、Web システムの活用によるペーパーレスの推進や、役職員に対する省エネ意識の啓蒙（全店舗のコピー機器周辺に「両面コピー」「集約コピー」等の方法を紹介したポスターを掲示。電灯スイッチやエレベーター開閉ボタンの近くへ節電協力のプレートを設置。）などを行っています。

【特徴】

環境負荷軽減に寄与する各種設備等の導入により、CO₂ 排出量の削減や省エネに努めています。また、役職員一人ひとりが公私を問わず省資源・省エネルギーに長期的に取り組むこととしています。

■ 鶴岡信用金庫

120-FY2020-01

環境に優しい金融商品の取扱い

【原則2】

- ・「カーライフプラン・エコ」のエコカーに係る金利優遇を行っています。
- ・ふれあっとリフォームローンの地球温暖化対策リフォーム工事資金に対する金利優遇を行っています。

【特徴】

企業の社会的責任に対して、本業として環境問題の解決に貢献することを目的に取り組んでいます。

120-FY2020-02

地域における環境保全活動の実施

【原則4】

- ・2005年から羽黒山（出羽三山）参道、境内の清掃ボランティア活動を行っています。
- ・山形県ふるさとの川アダプト事業へ参画し、内川の清掃活動を行っています。
- ・2010年から山形県、鶴岡市、山形銀行と協同で「やまがた絆の森づくり活動」を実施し、森林の保全活動に取り組んでいます。

【特徴】

地域金融機関として、庄内地域の環境保全に対する取り組みについては全職員一丸となって取り組んでいます。

120-FY2020-03

環境に配慮した業務プロセスの取組み

【原則5】

- ・2010年度よりカーボンオフセット通帳を活用しています。
- ・業務車両として積極的にハイブリッドカーを導入しています。
- ・店舗設置にあたり、太陽光発電設備の導入やLED設備の導入を行っています。

【特徴】

節電行動への積極的な取組みと共にCO₂排出削減に対する取組みも実施しています。

120-FY2020-04

鶴岡信用金庫の環境方針の制定

【原則6】

自然環境の維持及び改善に努めることは、地域金融機関としての社会的責任であり、環境への負荷の軽減に努力する事は、資源を消費する企業としての責務であると認識し、当金庫の環境問題に対する取組みを内外に明示しています。

【特徴】

当金庫のホームページに掲載し、取組みを広くPRしています。

■ 城北信用金庫

121-FY2020-01

CO₂排出量抑制への取り組み

【原則1】

当金庫は、3ヵ年計画「環境マネジメント 2019」を策定し、計画的な CO₂ 排出量の抑制に取り組んでいます。全拠点への LED 照明導入、低燃費な自動車・バイクへの更新、各業務におけるペーパーレス化等を通じて、今後も継続して電気・水道・ガソリン・コピー用紙の各使用量の節減に取り組んで参ります。

【特徴】

子会社を含む城北信用金庫グループ全体で数値目標を設定し、グループ内で連携することで目標を達成すべく取り組んでいます。

121-FY2020-02

環境に配慮した金融商品の提案

【原則2】

環境問題に配慮した下記の金融商品を取り扱い、お客さまにご提案しています。

- ・「環境保全設備支援ローン」
- ・「城北住宅ローン・エコ」
- ・「城北カーライフプラン・エコ」
- ・「自然エネルギー活用ローン」

【特徴】

地域企業の環境へ配慮した設備の導入や、家庭におけるエコ住宅及びエコカーの取得を支援し、持続可能な社会の形成に寄与することを目的としています。

121-FY2020-03

埼玉県川口市「エコライフDAY」への参加

【原則3】

令和2年6月14日(日)、当金庫の川口市内5店舗は、川口市が取り組んでいる地球温暖化防止活動「エコライフ DAY2020」に参加しました。

当日は、職員とその家族184名が CO₂ 排出量削減に配慮した一日を過ごし、合計で 181kg-CO₂ を削減することができました。

【特徴】

地域が取り組んでいる環境保全活動に、職員が積極的に参加することで、環境保全への関心を広げていくことを目的に取り組んでいます。

121-FY2020-04

eco 検定の受験奨励

【原則7】

当金庫では、「環境社会検定試験 (eco 検定)」の受験を役職員に奨励しています。

令和2年3月末時点で189名の合格者がおり、今後も eco 検定合格者＝”エコピープル”の増加に取り組

んで参ります。

【特徴】

環境についての幅広い知識を業務に活用し、環境活動の推進に役立てることを目的に取り組んでいます。

121-FY2020-05

SDGsへの取り組み

【原則6】

当金庫では SDGs の推進に際し、以下のような取り組みを行っています。

SDGs 宣言・SDGs 基本方針の制定
SDGs に向けた当金庫の主な取り組みの公表
お客さま向け情報提供資料の作成

【特徴】

当金庫は、金融・非金融の両面から、事業活動を通じて地域における様々な課題の解決に取り組むとともに、地域の皆さまに SDGs の理念をお伝えしていくことで、国際目標 SDGs の達成に貢献してまいります。

■ 中ノ郷信用組合

126-FY2020-01

エコアクション21による環境配慮商品・サービスの提供

【原則1】【原則2】

当組合は、エコアクション21の環境配慮商品サービスの提供として環境にやさしい企業を応援するため、なかのこうエコアクションローン、個人のお客様には、なかのこうエコリフォームローン、エコ電化ローン、エコカーローンを取扱っております。

【特徴】

環境に配慮した企業や個人をサポートする組合員を対象とした特別融資です。

126-FY2020-02

エコアクション21認証取得サポート事業を推進

【原則3】

取引先事業所を対象にエコアクション21認証・取得をサポートするために支援講座を開設し、環境への取組を取引先事業所へも推進して環境配慮商品サービスを提供しています。

【特徴】

取引先事業所へエコアクション21を取得していただき、エコアクションローンによる事業資金を提供します。

126-FY2020-03

エコアクション21認証・登録

【原則7】

環境への取組を効果的に行うために、環境マネジメントシステム（エコアクション21）を構築し環境関連法規等を遵守し、環境方針に沿って二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減、総排水量削減、グリーン購入の促進、環境配慮商品サービスの提供、環境教育を全職員へ行い環境保全の意識を高めています。

年間の活動結果を環境活動レポートにより、ホームページ、店頭、EA21事務局へ公開しています。

【特徴】

エコアクション21認証・登録により社会的責任を高め、環境経営のための仕組みを構築、運用、維持し、全組織、全役職員に環境保全の意識を高めています。

126-FY2020-04

中ノ郷信用組合「SDGs宣言」

【原則6】

当組合「SDGs持続可能な開発目標」宣言への取組みとして、地域経済の活性化、地域社会への貢献、環境保全に対する取組み、人材育成への取組みを宣言します。

【特徴】

金融機関として主力は、「地域経済の活性化」である事業継承・創業支援・事業再生支援に軸足を置いた支援を行い仕事・職場の維持、発展させることで社会の持続可能性を高める活動を行いSDGs宣言の「貧困をなくそう、働きがいも、経済成長も」に取り組んでいる。

■ のと共栄信用金庫

127-FY2020-01

森づくり活動

【原則4】【原則5】【原則7】

2008年5月1日石川県と協定書を締結し、中能登町にある石動山の県有林を借り受け、毎年春と秋の2回人工林の整備（間伐、枝打ち）、下刈り、植林、林道整備や自然体験学習などを行っています。

これまでの13年間で25回森づくり活動を行い、その活動結果は、石川県が2008年に創設した「森林整備活動CO₂吸収量認証制度」で、活動開始から現在までに吸収されると考えられる二酸化炭素量は246.0トン-CO₂と認証を受けました。毎回、職員をはじめ家族、地元住民などがボランティアとして集まり活動しています。

【特徴】

森づくりファンド“やまもり”を創設し、賛同いただいたお客様の定期預金の募集総額に応じて（最大80万円）当金庫が森づくりファンドに拠出し、それを活動原資に森づくりを行うものです。

127-FY2020-02

児童環境学習活動

【原則4】【原則5】

2009年度に七尾市教育委員会、中能登町教育委員会と締結した「環境学習講座等協定調印」に基づき、七尾・中能登町の小学生に環境学習を行っております。当活動の主旨としましては、

- ① CSR（企業の社会的責任）の一環
- ② 当金庫は「CSR」を経営の基本方針に掲げ、最近の社会問題である少子化問題、環境問題を二大テーマとして取り組んでいる
- ③ 環境学習の意義
子供たちが環境学習を通じて、環境の重要性に対する認識を高め、環境保全活動に取り組むことにより、自然を愛し、人間の連帯感を醸成し、他人を思いやる心を育むことによって、将来の地域社会の担い手となる人間性豊かな教育の支援を行うため

としております。

【特徴】

毎年、5月頃にキックオフミーティングを行い、七尾市・中能登町の各小学校の児童（6年生）が今年度の環境活動をスタートさせるのにあたり、活動テーマや取組み概要の発表等を行います。この後、各学校が活動を行い11月頃に取組の様子をまとめ、発表しています。

127-FY2020-03

のとじまの松林再生活動

【原則4】【原則5】【原則7】

当金庫の本店所在地である七尾市能登島地区では、近年、薪を使わなくなったことなどにより松林の手入れが行き届かなくなったことや、松くい虫や台風の被害等により松林が衰退、荒廃し、マツタケをはじめとしたキノコの発生が激減しています。こうしたなか、松林再生活動をつうじて里山づくりを推進し自然豊かな能登の原風景の再生を目指すものです。

【特徴】

作業内容として

- (1) 比較的緩やかな尾根筋を中心に、既存のマツの生息環境を改善するため、除伐、刈払いや堆積している腐植層の除去を行う。腐植層は、現況では約 5～10 cm 堆積しており、その除去については、尾根筋両側の 10～20 m 程度を除去区域とする。
- (2) 植樹したマツに巻きついたツタや草を取り除き、日当たりを確保する。
- (3) 2021 年度以降も、活動区域を広げながら実施する。

としております。

■ 中国労働金庫
134-FY2020-01
ローン商品の金利引下げによる環境保全に配慮した消費行動の促進
【原則2】
エコカーや環境に配慮した住宅購入等の場合について融資金利の引下げを実施しています。
134-FY2020-02
NPOの活動支援
【原則2】
NPO への助成金および NPO 寄付システム（口座振替による利用者からの寄付）による寄付金を通じて環境保全に取り組む NPO を支援しています。

■ 尼崎信用金庫

142-FY2020-01

あましんグリーンプレミアム

【原則3】【原則4】

営業エリア内の法人・個人・団体を対象に環境改善に寄与する技術、製品・工法、取組み及びアイデアについて表彰を行う制度です。2020年度は本表彰制度が10回目の開催となったこと、及び2019年10月に「あましんSDGs宣言」を制定し表明したことから、「第10回あましんグリーンプレミアム記念SDGs特別賞」を新設しました。

【部門・表彰内容】

・環境事業部門

自社で開発した技術や製品・工法などにより環境改善に大きく寄与する一定の効果をあげている事業者を表彰します

・環境活動部門

組織として（個人の場合は個人として）環境問題を意識した活動等を通じて、一定以上の効果をあげている先を表彰します

・環境アイデア部門

地域住民から幅広く、環境問題改善に向けたアイデアを募集し、低コストかつ迅速に実現可能であり効果的なアイデアを表彰します

・第10回あましんグリーンプレミアム記念SDGs特別賞

「持続可能な開発目標」に寄与または実現可能なアイデア・経営理念について表彰します。

【特徴】

地域の皆様が行っている環境への取組みにスポットをあて、当金庫独自の表彰を行い積極的に発信していくことを通じて、環境文化の創造に繋げていくことを目的としています。

142-FY2020-02

あまちゃん・しんちゃんプロジェクト

【原則3】【原則4】

平成23年の創業90周年記念事業として開始した営業店による地域貢献活動です。

各営業店で地域のニーズ（地域の課題）の掘り起こしを行い、環境・安全・文化・教育といった幅広い分野で、地域の一員として地域の活性化に取り組んでいます。

<営業店の主な活動内容>

- ・教育・学童交通安全プロジェクト
- ・防犯安全コミュニケーションプロジェクト
- ・緑化・環境保全プロジェクト
- ・認知症サポータープロジェクト 等

【特徴】

各営業店がそれぞれの地域や自治会などとコミュニケーションを図り、ニーズ（地域の課題）に合った活動を展開し、地域との絆を深めていきます。

142-FY2020-03

あましん緑のプロジェクト

【原則3】【原則4】

兵庫県と尼崎市が策定した「尼崎 21 世紀の森構想」に地元企業として参画し、地域の環境保全活動の主体的な役割を担うことを目指した活動

- ・平成 22 年 7 月 7 日 兵庫県と「尼崎 21 世紀の森づくりの推進に関する協定」を締結
- ・本店敷地内に育苗施設を設置し、苗木の里親企業第 1 号として苗木を育成
- ・尼崎市市内の本支店に尼崎 21 世紀の森づくりを紹介する「苗木の里親コーナー」を設置
- ・職員を「苗木の里親案内人」として養成（苗木の里親の受付・苗木の提供など行う）
- ・定額積立定期預金「どんぐりの木」の発売
- ・あましん植樹祭の開催 等

【特徴】

兵庫県、尼崎市、地域住民と連携し当金庫が主体的に地域の環境保全活動を推進しています。

■ 北海道労働金庫

149-FY2020-01

省エネルギーの取組み

【原則1】【原則5】

地球温暖化防止に向け、夏季の「ビジネス軽装（ECO スタイル）」や「冷房の適正温度設定」等を実施するとともに、ATM コーナー・営業店内照明の LED 化を順次行い、省エネルギーに取り組んでいます。また、当金庫が使用する事務用品や機器の購入に際しては、環境に配慮した製品を優先して選択するグリーン購入を実践し、「FSC ミックス認証紙」を使用した冊子の作成などを推進しています。

【特徴】

省エネルギー施策により節電、地球温暖化防止に取り組んでいます。

149-FY2020-02

金融エコ商品の取扱い

【原則2】

環境に配慮した金融商品を提供することにより、環境保全に関心の高いお客様をお手伝いし、環境負荷の軽減に努めています。

電気自動車等の環境に優しい車や福祉車両の購入資金を対象とし、当金庫の一般の自動車ローンよりも金利を引き下げた「轟エコ」の提供や、省エネルギー化・バリアフリー化・耐震化工事等を対象とした低金利の「エコリフォームローン」の取扱いもしています。

【特徴】

金融エコ商品の提供により地球温暖化対策に取り組んでいます。

149-FY2020-03

社会貢献事業

【原則3】

1. お客様と共に行う取組み

(1) ろうきんつなぐプロジェクト

当金庫の預金・各種サービス・ローンの利用につき 100 円/件を当金庫が拠出して、地域に貢献する活動を行う団体に寄付しています。

(2) ATM 利用による支援活動

当金庫 ATM の利用（入金・支払のみ）につき 1 円/件を当金庫が拠出して、「ろうきんつなぐプロジェクト」の寄付対象項目として取組みを進めています。

2. コープさっぽろとの連携による社会貢献活動の取組み

協同組合間連携の一環として、当金庫で作成したお子様口座件数（18 歳以下の普通預金口座）に応じて、100 円/件を当金庫が「コープ子育て支援基金」に寄付しています。併せて、預金口座からの自動振替（手数料無料）により、同基金への寄付を行う自動寄付制度を提供しています。

3. NPO をサポートする取組み

(1) NPO 自動寄付制度

預金口座からの自動振替により、預金者の方が NPO を支援する仕組みを提供しています。

(2) NPO 振込手数料免除制度

NPO 団体が受取る寄付金・会費・売上代金などの振込手数料を、当金庫本支店間に限り、年間 100 件まで免除しています。

(3) NPO 事業サポートローン

NPO 法人の事業に係る運転資金や設備資金をご融資し、資金面で NPO 活動を支援するものです。「融資」という金融機関本来の業務を通じて、福祉金融機関の役割発揮に努めています。

(4) 日本政策金融公庫との連携

協調融資商品「TSUNAGU」を取扱っております。

5. その他の社会貢献事業

(1) 継続助成事業

芸術や文化活動、および市民活動支援を行っている団体へ継続助成（毎年助成を予定）を行っています。

(2) 社会貢献助成制度

地域の公益の担い手として活躍する北海道内に所在の NPO 団体やボランティア団体を応援するために「社会貢献助成制度」を創設しています。

(3) さば一とほっと基金（札幌市民まちづくり活動促進基金）への寄付

ボランティア団体・NPO 団体などが行う、札幌のまちづくり活動を支えるために、2008 年度から同基金に毎年寄付を行っています。

(4) 環境債や社会貢献債の購入

ESG や持続可能な開発目標（SDGs）などの分野への理解を深めるために、環境債（グリーンボンド）購入による発行企業 HP での公表や持続可能な開発目標（SDGs）を展開している企業の社債の購入を行い、この分野の動向について労金業態全体と情報連携を行っています。

【特徴】

これまでの活動の成果の一部を人にやさしい社会づくりのために活用しようと、会員の皆様の理解を得ながら、環境保護に取り組む NPO 団体やボランティア団体等を対象に、助成事業や金融機能を通じた支援活動を実施しています。

149-FY2020-04

北海道生活協同組合連合会との「緊急災害対策等の相互連携に係る基本協定」の締結に基づく連携

【原則3】

当金庫と北海道生活協同組合連合会は、大規模自然災害に備え、緊急災害対策と復旧・復興への取り組みを相互に協力して進め、地域や組合員の暮らしを守ることを目指し、協定を締結しています。なお、同連合会傘下の会員生協より、災害時用の備蓄品（飲料水・保存食）の定期購入を継続し、当金庫本支店に備蓄しました。

<基本協定による協力内容>

1. 災害対策についての情報交換
2. 相互支援策の継続的な開発
3. 資金面での相互連携

【特徴】

相互の情報交換・協議を通し、具体的な災害対策を連携・協力して進めています。

149-FY2020-05

ペーパーレス化の導入

【原則7】

事業の業務運営に関わる環境負荷を軽減するため、庫内会議のペーパーレス化や本部決裁文書の電子化に取り組んでいます。

【特徴】

環境や社会問題に対する役職員の意識向上を図っています。

149-FY2020-06

協同組合ネット北海道への参画

【原則1】【原則3】

北海道生活協同組合・JA グループ・道内大学などと、北海道における新たな協同組合連携組織として2020年6月17日に発足した「協同組合ネット北海道」へ参画しました。

【特徴】

単一の協同組織では解決できない課題の解決に向けた取組みを展開しています。

■ 茨城県信用組合

151-FY2020-01

認知症サポーター養成講座の実施

【原則3】【原則4】

当組合では、平成 24 年 12 月 3 日に茨城県と認知症普及啓発企業連携事業協定書を締結し、職員及び地域住民の皆様に対し、認知症に関する正しい理解の普及・啓発に取り組んでいます。平成 24 年度は地域住民を対象に、茨城県及び茨城県認知症アドバイザーご協力のもと、「認知症サポーター養成講座」を実施し、平成 25 年度には職員を対象に実施しました。

また、茨城県では 9 月を「認知症を知る月間」と定め、認知症の早期発見や予防の取組み促進のため、パンフレットを当組合全支店の窓口やロビー等に備え置き、普及・啓発に努めています。

151-FY2020-02

献血運動の実施

【原則4】

当組合では、「しんくみの日週間」にあたり、社会貢献活動の一環として、医療に必要な血液の安定的確保に寄与するため、茨城県赤十字血液センターの協力により、献血活動に協力しています。当組合は、平成 22 年 10 月に「献血サポーター」となりました。平成 26 年度からは、全職員・関連会社の職員を対象に、8～9 月の 2 ヶ月間、「献血バス」並びに「献血ルーム」での献血協力を実施しております。企業献血の実施は今回で 8 回目となります。今年度は延べ 230 名が協力しました。

151-FY2020-03

がん検診受診率向上のための取組み

【原則1】【原則4】

茨城県では、がんによる死亡率の低減を図るため、県と企業、事業者及び団体が「がん検診受診率向上企業連携プロジェクト」として協定を締結し、連携してがん検診の受診率向上に取り組んでいます。当組合でも県と協定を締結しました。そして平成 29 年から、県が主催する「茨城県がん検診推進サポーター養成研修会」へ参加しています。

また、茨城県では 10 月を「茨城県がん検診推進強化月間」と定め、がん検診をはじめとする、がんに関する正しい知識の普及・啓発に取り組んでいます。この取組みの一環として、県主催による講演会のポスターやリーフレットを当組合全支店の窓口やロビー等に備え置き、普及・啓発に努めています。

151-FY2020-04

障がい者・高齢者等に配慮したサービス向上について

【原則1】【原則6】

耳の不自由な方の相談内容に的確に対応するためのツールとして「コミュニケーションボード」を窓口に備え置き、渉外係は携行するようにしています。また、目が不自由な方が利用できる ATM を設置し、ホームページにて公表しています。

151-FY2020-05

カーボンオフセット通帳の導入

【原則2】【原則5】

令和 2 年 11 月より、通帳の製造過程で排出された二酸化炭素をカーボンオフセットするなど、環境面

に配慮した新デザイン通帳の導入をいたしました。また、色の識別が不自由なお客さまや、ご高齢のお客さまに配慮した金融サービス向上の一環として、メディア・ユニバーサルデザインを採用しています。

151-FY2020-06

茨城県信用組合 SDGs宣言の公表

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

当組合は、事業活動がお客さま、地域、役職員が共に成長する好循環を生み出し、地域の経済や社会の持続的な繁栄に繋がることを目標に取組んでまいりました。

その取組みが、国連が提唱する持続的な開発目標（SDGs）と理念を同じくするものと考え、令和2年11月25日に「茨城県信用組合 SDGs 宣言」を公表いたしました。当組合が取り組むべき目標を「地域経済の活性化」「地域社会への貢献」「人才の育成」「地域環境の保全」の大きく4つに分類し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

■ 西尾信用金庫

152-FY2020-01

地球温暖化対策への取組み

【原則1】

LED 照明の導入、電気自動車、電動バイクの使用、新築店舗への太陽光発電設備の設置、ATM の待ち受け画面の節電化（ATM 省電力対応システムの導入）

152-FY2020-02

にしん三河湾浄化推進活動（海岸清掃）

【原則3】

当金庫の地元西尾市は、三河湾の中心に位置し、合併により三河湾の内陸に接した部分は約 35% と最大の市となったこともあり、身近な三河湾の水質浄化に取り組む三河湾浄化推進協議会の趣旨に賛同し、平成 24 年 7 月に「三河湾水質浄化応援定期預金」を発売、募集総額 80 億円の 0.01%、約 80 万円を三河湾浄化推進協議会に寄付し、三河湾の環境改善に役立てていただきました。

また、昭和 50 年から西尾市吉良町の海岸清掃を継続して実施しています。

【特徴】

環境定期を発売し、持続可能な社会形成に資する金融商品の開発、普及、促進

152-FY2020-03

環境定期預金等の発売

【原則3】

平成 23 年 11 月に、地域貢献のため「緑の募金」を通して、身近な森、緑作り意識を盛り上げるため、「にしん環境定期預金・緑の恵」、募集総額 80 億円を発売しました。発売にあたり（公社）愛知県緑化推進委員会と「覚書」を締結し、発売総額の 0.01%、約 80 万円を同会へ寄付しました。

また、令和 2 年 4 月に「にしん SDGs 宣言」を公表し、新しい SDGs 定期預金の発売を検討しています。

【特徴】

環境定期を発売し、持続可能な社会形成に資する金融商品の開発、普及、促進

152-FY2020-04

ECOカーローン・リフォームプラン・エコ・ECO私募債の発売

【原則3】

平成 21 年より温暖化対策等地球環境保全を目的とした ECO 関連融資商品の取扱いを開始し、現在も取り扱いをしています。

【特徴】

ECO 関連融資商品を発売し、持続可能な社会形成に資する金融商品の開発、普及、促進

152-FY2020-05

通帳アプリ口座（通帳レス）の取扱い

【原則 1】

令和 1 年 10 月より、紙の通帳を廃止し、スマートフォン上のアプリを利用することで入出金明細や残高が確認できる取扱いを開始しました。

152-FY2020-06

Hi-Co(ハイコ)通帳の取扱い

【原則 1】

令和 2 年 3 月に、磁気不良になりにくい通帳の取扱いを開始しました。

152-FY2020-07

にしん「SDGs 宣言」の公表

【原則 1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

令和 2 年 4 月に「にしん SDGs 宣言」を公表し、持続可能な地域社会の実現に努めることを宣言しました。

【特徴】

お客さまのいちばん身近な存在として、地域とつながり地域に貢献し、地域とともに成長・発展していくことを目指します。

■ しずおか焼津信用金庫

168-FY2020-01

エコアクション 21 の取組み

【原則1】

当金庫では、「自然環境の保全と環境にやさしい事業活動を念頭に、地域社会と調和して継続的な環境保全活動に取り組みます」という環境基本方針を掲げ、平成 20 年より環境経営システム「エコアクション 21」に取り組んでいます。

行動方針および環境目標に基づいて定めた計画に沿って、環境に配慮した活動に取り組むとともに、PDCA サイクルを基本としたエコアクション 21 を通じて、継続的な改善を図っています。

【特徴】

活動推進にあたっては全店より CSR リーダーを選任し、取組みを強化しています。また、県内金融機関において、エコアクション 21 の認証登録取得（平成 21 年に本部・本店、平成 25 年には全店にて取得、令和元年 7 月の合併により規模拡大）は初となっています。このような取組みが評価され、平成 25 年には環境省試行事業「チャレンジエコアクション 21」の参加金融機関に選出され、地元企業の環境経営導入支援を行いました。

168-FY2020-02

環境配慮型金融商品の取扱い

【原則2】

自らが販売・提供する商品への環境配慮として下記の商品を取扱い、環境に配慮した融資資金については金利を優遇しています。

1. 環境応援融資「SDGs・セレクトローン」
太陽光発電設備の設置、低公害車の購入、環境対策や整備を目的とした事業用資金等、環境へ配慮した事業用融資の金利優遇商品です。
2. 環境配慮型商品「カーライフプラン・エコ」「リフォームプラン・エコ」
エコカーの購入資金、エコ関連設備の購入・設置資金等、環境配慮型の消費者ローン商品です。

【特徴】

エコアクション 21 環境目標項目「自らが販売・提供する商品及びサービスに関する環境配慮」に関する取組みとして位置付けています。お客様のニーズと照らし合わせ、商品性等の見直しを図っています。

168-FY2020-03

しずおか未来の森サポーター「谷津山再生活動」の実施

【原則3】【原則7】

当金庫では、平成 22 年より静岡市中心市街地にある里山「谷津山」の整備活動に取り組んでいます。市街地の緑地として重要な役割を担っている谷津山ですが、近年放置竹林が広がり土砂崩れなどの恐れがあることから、当金庫では市民の憩いの場、自然体験等の環境教育の場として再生し、未来に自然を残そうと活動しています。

活動内容は以下の通りです。

1. 整備活動（下草刈り、竹の伐採）
地域の環境保全活動として、役職員が整備活動を実施しています。
2. 環境教育活動

子供たちが自然に触れながら、楽しく学べるように、自然教室や工作体験等を実施しています。

3. PR 活動

店頭、HP、社内外のイベント会場にて、谷津山の現状や当金庫の活動内容を紹介しています。

4. ハイキングコースの整備

谷津山散策用の案内看板を谷津山内に設置し、見どころを紹介しています。

5. 植樹

平成 24 年 3 月、当金庫が日頃整備活動をしているエリアにおいて、創立 80 周年を記念した植樹会を実施しました。

【特徴】

しずおか未来の森サポーター活動として、平成 22 年に静岡県と協定を締結し、社会貢献活動の一環として取組んでいます。運営には若手職員（入庫 1～3 年目）が携わり、役職員の交流の場にもなっています。この取組みにおいては、地元に着目する環境保全活動を通じ、社員教育も実施していることが評価され、平成 27 年 8 月に環境省・環境人材育成コンソーシアムが主催する「環境人づくり企業大賞 2014」で奨励賞を受賞したほか、平成 29 年 6 月全国信用金庫主催 第 20 回「信用金庫社会貢献賞」で face to face 賞を受賞しました。また令和 2 年 10 月、取組みから 10 年が経過し、しずおか未来の森サポーター企業表彰式において功労表彰をいただきました。

168-FY2020-04

環境配慮型の店舗づくり

【原則5】

「環境への配慮」をコンセプトとし、下記のような環境配慮型設計を取り入れながら、お客様がご利用しやすい店舗作りを進めています。

- ・太陽光発電設備による二酸化炭素排出量の削減
- ・LED 照明を採用した省エネ対策
- ・熱遮断ガラスフィルムによる空調負荷低減、自然採光の有効活用
- ・駐車場の緑化、熱交換塗料の塗布

【特徴】

エコアクション 21 環境目標項目「二酸化炭素排出量の削減」に関する取組みとして位置付けており、店舗新築時には環境配慮型の店舗設計を推進しています。

168-FY2020-05

SDGsへの取組み

【原則6】

持続可能な社会の実現を目指して、SDGs に取り組んでいます。

【特徴】

- ・SHIZUOKA SDGs Action ! の開始

当金庫の SDGs 推進企画として、静岡市や SDGs に先進的に取組む企業と連携して「SHIZUOKA SDGs Action !」を開始しました。具体的には、支店（追手町支店）の店外ディスプレイで取引先企業の SDGs への取組みを情報発信し、当金庫 HP の専用 SDGs ページでも情報発信しています。また SDGs に係る事業の為にクラウドファンディングの活用支援も行い、三位一体型支援として展開しています。

■ 飯田信用金庫

179-FY2020-01

事業活動における環境負荷軽減の取り組み

【原則1】【原則6】

電力等エネルギー使用量の削減に取り組み、令和元年度の二酸化炭素排出量は 1,200 トンとなり、基準年度とする平成 12 年度に比べ 36.9%削減することができました。この結果、預金 1 億円あたりの二酸化炭素排出原単位は 0.21 トンとなり、平成 12 年度に比べ 58.0%減少しております。

179-FY2020-02

リサイクルの推進

【原則1】【原則6】

- ・廃棄物のリサイクルをすすめ、令和元年度は事業活動により発生する廃棄物の 96.2%をリサイクルいたしました。総廃棄物量は 76.603 kg で、廃プラと廃タイヤはサーマルリサイクル（高炉燃料）、その他はマテリアルリサイクル（再資源化）しております。
- ・環境に配慮した素材の利用を進めており、新ユニフォームのスカートはペットボトル再生繊維を 60%使用しており、使用後の制服はサーマルリサイクルしております。また、紙 100%で出来たエコクロス通帳の利用やベジタブルインキの利用をしております。
- ・海洋プラスチック問題への対応として、証書入れ袋をプラスチック製から紙製に変更しました。
- ・贈答用プラスチック製袋を廃止し使用中止としました。

179-FY2020-03

二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇するローンの取り扱い

【原則2】

平成 17 年度から二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇するローンを取り扱っております。令和元年度の住宅関連融資については 37 件 1,014 百万円の新規ご利用をいただき、二酸化炭素排出量削減効果 は 141 トンとなっております。

179-FY2020-04

環境情報の発信等

【原則3】【原則4】【原則5】【原則7】

- ・天竜川水系環境ピクニック（環境ボランティア活動）へ参加しております。
- ・飯田市の「燃やすごみ」袋へ当金庫の広告を掲載しております。なお広告料は飯田市の環境改善政策に活用されております。
- ・地域ぐるみ環境 ISO 研究会へ参加しております。
- ・長野県環境保全協会事業へ参加しております。

- ・飯田市条例に基づく住民主体の再生可能エネルギー事業の支援をしています。
 - ・ISO14001 最新規格 2015 年版へ認証を更新しました。
 - ・当金庫 SDGs 宣言を公表するとともに、長野県 SDGs 推進企業登録制度へ申請を行い、職員意識の向上、ならびに地域への発信に取り組んでいます。
-

■ 大阪信用金庫

180-FY2020-01

エコアクション 21 の取組み

【原則1】【原則5】【原則6】【原則7】

当金庫は、環境省が策定する環境マネジメントシステム「エコアクション 21」の取引先企業への普及推進に先駆け、平成 22 年に本部・本店において認証登録を受けました。また、平成 24 年には登録先を全店舗に拡大し、全役職員でエコアクション 21 活動に取り組んでいます。

「エコアクション 21」のガイドラインに基づき、節電節水、廃棄物の削減、法令順守など様々な環境活動を実施しています。

【特徴】

エコアクション 21 活動における主な取り組みとして、環境に配慮した設備の導入、「デマンドメータ」を取り入れた電力のピークカット対策、平成 18 年度からは環境緑化・店舗美化活動を目的とした「花咲かしんきん運動」の実施などを行っており、環境に対する職員の意識向上にもつながっています。これらの取組みに対し、環境省や大阪府より表彰を受けています。

180-FY2020-02

「花咲かしんきん運動」

【原則1】【原則7】

明るい店舗、窓口づくりを目指すとともに、花を大切に作る温かな気持ちで全職員がお客様を気持ちよくおもてなしすることを目的とした店舗美化・環境緑化活動「花咲かしんきん運動」を平成 18 年度より実施しています。店舗周辺に四季折々の花を植えたり、店内にも季節感あふれる趣向を凝らした飾りつけを行っています。また、大阪府などが主催する通称「アドプト・ロード」の認証取得も行っており、現在 30 店舗において認証を受けています。

【特徴】

各店舗の若手職員が「花咲かしんきん運動推進委員」となって、リーダーシップを発揮し、全職員が協力して活動を実施しています。また、花咲かしんきん運動推進表の作成により PDCA サイクルを回す訓練にもなっています。

180-FY2020-03

だいしんグリーン化プログラム「エコアクション 21 スクール」

【原則3】【原則5】

当金庫では、取引先企業に「エコアクション 21」を普及するために、平成 23 年よりだいしんグリーン化プログラム「エコアクション 21 スクール」を実施しています。毎年「エコアクション 21 導入セミナー」を開催し、セミナー参加者の中から実際に認証取得を目指す企業を集め、「エコアクション 21 スクール」を開催し、エコアクション 21 の取得支援を行っています。

【特徴】

エコアクション 21 の導入により、コスト削減やリスク管理だけではなく、PDCA サイクルの定着など、幅広い面での相乗効果が期待でき、経営力アップに結び付くと考えられています。

■ 大阪シティ信用金庫

233-FY2020-01

緑化支援事業を応援する積金商品の発売と寄付金の寄託

【原則2】【原則3】

大阪府が「みどりの風を感じる大都市・大阪」をめざして実施している緑化支援事業を応援するため、平成 27 年から毎年 6 月の「信用金庫の日」に「シティ信金“みどりの風の道”定期積金」を発売しました。販売終了後、同積金の総契約額の 0.05 % 相当額を当金庫が拠出し、大阪府に寄託しています。贈呈式では、当金庫の高橋理事長が大阪府の竹内副知事に寄付目録を贈呈し、またその寄付に対し、大阪府から感謝状を受領しました。寄託金は、緑化重点区域の活動資金に充てられます。

【特徴】

今年も 6 月 15 日に積金を発売し、同様に契約額の一定額を寄託しました。

233-FY2020-02

環境への配慮、環境意識の向上を応援する金融商品の発売

【原則2】【原則3】

「大阪シティリフォームローン増・快・築」を取り扱っており、環境に配慮した設備の導入資金としてご利用いただく場合、金利を「0.402 %（シーオーツー）」マイナスしています。また、特に環境性能に優れた自動車を購入される場合に、通常のカーローンより低廉な保証料率でご利用いただける「カーライフプラン・エコ」を取り扱っています。ほかにも、環境問題に積極的に取り組む日本国内の株式に分散投資し、長期安定的な信託財産の成長をめざすエコ・ファンド「損保ジャパン・グリーン・オープン/ 愛称・ぶなの森」を取り扱っています。

233-FY2020-03

環境負荷の少ないエコ製品を粗品に採用

【原則2】【原則3】

お取引先に配布する粗品について、環境にやさしい洗剤や、漂白剤不使用のタオル、再生紙のメモ帳・ポケットティッシュなどを採用しています。

233-FY2020-04

全店で店舗近隣エリアの早朝清掃を実施

【原則2】【原則3】

当金庫では、昭和 59 年から 30 年以上にわたり、全店で店舗近隣や駅前、公園などの早朝清掃を実施しています。地域の一員としての社会的責任と地域への感謝の気持ちをもって各店が自発的に実施してきたもので、毎月実施しています。また、当金庫の創立記念日（11 月 11 日）と信用金庫の日（6 月 15 日）には、全店一斉に早朝清掃を実施しています。

233-FY2020-05

職員による環境負荷低減の取組

【原則7】

日常の業務運営で、役職員に常に環境保護に意識を持ってもらうため、冷暖房空調機器、OA 機器、照明器具などにおいて、無駄な電力使用（省エネ ATM や LED への更新、照明器具の削減、稼働時間の短縮等）を排除するとともに、夏季に「クールビズ」、冬季に「ウオームビズ」を実施し、省エネに努めています。

■ 沖縄県労働金庫

245-FY2020-01

「ろうきん・わしたシマづくり運動基金」の取り組み

【原則1】【原則2】【原則3】【原則6】

・NPO 団体等への支援として、自動機の取り引きに応じて寄付金額を積み立て、地域で活動する団体へ寄付することによりその活動を支援する「ろうきん・わしたシマづくり運動基金」を創設しました。2019 年度は 16 団体へ総額 100 万円を寄付しました。

・また積み立て金の一部については、「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」への支援にも充て取り組みを行っています。

245-FY2020-02

「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」の取り組み

【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

・「子どもの貧困」と、その背景にある「親（労働者）の貧困」問題の改善・解決に向け、2016 年 10 月に基金を設立し、（公財）沖縄県労働者福祉基金協会を事務局として運営を開始しています。「働く」につながる支援を基本方針とし、養育する子どもがいる親の就労・生活支援や、職業資格の受験費用等の捻出が困難な就学生（高校生等）に対する費用等を支援しています。より多くの人に取り組みを知っていただき全県的な運動をめざし、精力的に取り組みを進めています。

245-FY2020-03

「首里城再建に向けた支援」の取り組み

【原則1】【原則2】【原則3】【原則7】

・火災により焼失した世界遺産に登録されている首里城の再建に向けた支援の一環として、自動機の取り引きに応じて寄付金額を積み立て、沖縄県へ寄付をする支援を行っています。
2019 年度は 4,964,285 円を寄付しました。

■ 九州労働金庫

249-FY2020-01

環境に配慮した取組み

【原則1】【原則2】【原則5】【原則7】

九州ろうきんでは、企業の社会的責任（CSR）を果たすために、「ろうきん 5R 運動」（Rokin の Refuse、Reduce、Reuse、Recycle）と称して、地球温暖化防止に向けた以下の取り組みを行っています。

- ① 二酸化炭素削減の一環として、室内の冷房温度を 28 度、暖房温度を 19 度に設定するとともに、照明の部分消灯や LED への切り替え等を行い、節電に努めています。
- ② 事務用品や機器の購入に際し、環境に配慮した製品を優先して購入する「グリーン購入」を実践しています。
- ③ タブレット端末を利用したペーパーレス会議システムを導入し、紙の資料の削減に努めています。

249-FY2020-02

ピンクリボン運動への支援取組み

【原則1】【原則4】【原則5】

九州ろうきんの ATM のご利用 1 回につき 1 円を当金庫が拠出し、ピンクリボン運動を推進している団体へ寄付を行うなど、ピンクリボン運動を支援する取り組みを 2011 年 10 月より行っています。2019 年度は、ピンクリボン運動を推進している九州の NPO へ合計 240 万円の寄付を行ったほか、職員がピンクリボンのイベントへ参加し、募金活動やリーフレット配布を行うなど共同での啓発活動に取り組みました。

249-FY2020-03

子どもたちの成長を応援する活動・児童養護施設の子どもたちへの支援活動

【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

- ① 社会貢献預金「こども未来応援定期」の取り組み
「子どもたちを支援する団体」を応援することを目的として、2019 年 4 月より社会貢献預金「こども未来応援定期」の取り扱いを開始しました。社会貢献預金「こども未来応援定期」は定期預金作成の店頭表示金利より当金庫所定の金利（0.1%）を引き下げた金利を適用金利とし、その金利の引き下げ幅分の利息相当額を「お客さまの寄付額」とみなして、九州 7 県の「子どもたちを支援する団体」へ寄付する預金です。2019 年度の預入件数は 1,956 件、預金残高は 7 億 6 百万円となり、当金庫拠出金を含めて総額 2,126,486 円を各県の児童養護施設協議会に寄付しました。
- ② 図書寄贈の取り組み
九州各県の児童養護施設に、子どもたちが希望する図書を寄贈しています。2011 年 10 月の取組開始から 2020 年 3 月末までに、合計 10,917 冊を寄贈しました。また、図書寄贈に対して子どもたちからいただいたお礼のメッセージカードは、地域の皆さまとともに成長を見守ることを目的に、最寄りの営業店に掲示させていただいています。
- ③ メセナシートの取り組み
福岡市の PayPay ドームで開催されるソフトバンクホークス戦全試合に、「メセナシート」（ビューフェッ付観戦席）を 1 試合あたり 16 席設け、児童養護施設の子どもたちを招待しています。2019 年シーズンは、49 施設 684 名を招待し、観戦した子どもたちからは、多くの心温まるお礼状をいただくなど、好評を得ています。

249-FY2020-04

「エコ住宅」優遇制度の実施

【原則2】【原則5】

九州ろうきんでは、オール電化システムなどの環境に配慮したシステムを備えた「エコ住宅」を対象として、2016年度より住宅ローンの金利を優遇する制度を設けており、この制度を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。

249-FY2020-05

NPO と協働した取組み

【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

① 九州ろうきん「NPO 助成」

NPO などの活動を支援するために実施している助成制度で、2020年度で17回目となります。助成金 は、お客さまからのボランティア預金「NPO パートナーズ」による寄付金と当金庫の拠出金を財源としており、2020年3月末までに累計1,149団体へ2億49百万円を助成しました。

② ボランティア預金「NPO パートナーズ」

店頭金利から引き下げた金利でお預け入れいただく定期預金で、金利引き下げ相当額は、九州ろうきん「NPO 助成」の助成金の一部として活用させていただいています。なお、預金残高は、2020年3月末現在で1,647件7億38百万円となっています。

③ NPO 自動寄付システム「NPO サポーターズ」

指定日に、お客さまの普通預金口座から、お客さまが応援する NPO の口座に自動振替で寄付する制度です。1回の寄付額は100円以上(100円単位)で、寄付先は、市民への情報公開性や事業の社会性等を基準に当金庫が選定した NPO 法人の中からご選択いただきます。

④ NPO 法人および社会福祉法人向け融資

NPO 法人や社会福祉法人の運転資金や設備資金をご融資し、資金面でサポートしています。2020年3月末で累計68件5億51百万円をご融資しました。また、2017年度に商品性を見直し、返済期間の延長や法人格取得後、はじめて到来する事業年度の決算が確定していなくても申込みいただけるなど、利便性を高めました。

⑤ NPO 振込手数料免除制度

NPO の運営に欠かせない会費や寄付金集めを、九州ろうきんの本支店を利用して振り込みで行う場合に、年間100件を上限として手数料を免除する制度です。2020年3月末で累計31団体にご利用いただいています。

249-FY2020-06

災害に関する取組み

【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】

九州ろうきんでは、災害で被災された方の生活や住宅の復旧・復興を目的として、低利でご利用いただける「災害救援ローン」および「災害救援住宅ローン」の取り扱いを行っています。また、住宅ローンをはじめとした、返済計画の見直し等に関するご相談をお受けしています。

249-FY2020-07

社会的課題(奨学金問題)に関する取組み

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

九州ろうきんでは、勤労者およびその家族に対して、奨学金返済にかかわる相談および奨学金借換に必要な資金を融資することにより返済負担額等の軽減を図り、勤労者とその家族の生活の改善および向上に寄与することを目的として、2018年4月より労働者福祉南部ブロック協議会（九州各県の労働者福祉協議会）と連携した以下の取り組みを開始しました。

① 教育ローン（奨学金借換専用「つなぐ」）

奨学金の毎月返済額や返済期間の見直しなどの多様なニーズに応えるために、通常のエデュローンよりも低利な奨学金借換専用ローン「つなぐ」の取り扱いを2018年4月より開始し、2020年3月末で累計263件6億28百万円をご融資しました。

② 奨学金返済困難者に対する相談窓口の設置

奨学金返済にかかわるご相談に対応するため、各営業店および労働者福祉協議会のライフサポートセンターに相談窓口を設置しました。なお、ご相談状況に応じて、セーフティネット（弁護士や司法書士）の紹介なども行っています。

■ 新潟県労働金庫

250-FY2020-01

ろうきん森の学校

【原則7】

「ろうきん森の学校」は、労働金庫連合会の50周年記念事業として、豊かな森の再生、環境問題に取り組む人材の育成を目的に2005年10月に開校しました。2015年からは、富士山・福島・広島の新潟（魚沼）・岐阜の2地区を加えた全国5地区に拡大し、各地区のNPO法人とともに地域と連携した活動を行っています。

なお、新潟地区については、2019年7月からは、「上越市くわどり市民の森」エリアを拠点として活動している「NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部」の環境教育事業の協力に移行し、地域とのつながりを大切に自然環境保護の活動に、ろうきん職員とその家族だけでなく会員組合員の皆様とともに参加しています。

また、ろうきん森の学校の活動は、2015年に、「国連生物多様性の10年日本委員会」の連携事業として認定されました。

【特徴】

ろうきん森の学校の特色

- ① 「森づくり」から、「人づくり・地域づくり」につなげる自然学校運動
- ② 現地NPOが主導する「地域主体型」活動の定着
- ③ 支援団体関係者への体験プログラムを通じた「環境マインドの醸成」

250-FY2020-02

節電、夏季軽装等の取組み

【原則1】【原則5】【原則7】

冷暖房の適正温度設定やクールビズの実践、グリーン商品の購入など、省エネ・省資源につとめ、環境負担軽減をはかっています。また、「にいがた緑の百年物語」（緑の募金）に協賛しています。

【特徴】

各種取組みを通じて、職員の省エネに対する意識向上に努めています。

250-FY2020-03

新潟県生活協同組合連合会との「緊急災害対策等に係る相互連携協定」の締結

【原則3】

当金庫と新潟県生活協同組合連合会は、大規模自然災害発生時における地域への支援活動について、協同組合間の相互連携を図り、復旧・復興への取組みをすすめるため、協定を締結しています。

■ 東北労働金庫

253-FY2020-01

「社会貢献目的預金(ろうきんふれ愛預金)」

【原則2】

2012 年 10 月より、地域の社会福祉施設等の支援を目的とした「社会貢献目的預金（ろうきんふれ愛預金）」の取り扱いを開始しました。

お客様からお預入いただいた定期預金(預入期間 1 年)店頭表示金利と適用金利(店頭表示金利から 30% を減じた金利) の差による利息相当額に、当金庫からの拠出金等を加算し、東北 6 県内の福祉団体、福祉施設等へ 2013 年度から寄付を行っております。

10 月に各県本部に設置している「寄付先選定委員会」で寄付先を決定し、11 月～12 月に寄付を行っております。

【特徴】

2019 年度は、45 団体に対して総額 407 万円の寄付金贈呈を行いました。

253-FY2020-02

東北ろうきん復興支援・社会貢献団体助成金制度

【原則3】

2012 年 10 月より、「東北ろうきん復興支援助成金制度」を創設し、2012 年度より助成を行っております。「東日本大震災からの復興・被災者への支援」および「当庫が定める社会貢献活動」に取り組む NPO やボランティア団体の活動支援を目的として実施しています。

今年度より名称を一部変更し、9 月からの募集開始としました。12 月に助成先を選考し、翌年 1 月に助成金を交付しております。

【特徴】

2019 年度は、29 団体からの応募を受付け、選考の結果、10 団体に対して 1 団体あたり 30 万円の助成金を交付し活動支援を行いました。

253-FY2020-03

環境負担軽減の取り組み「節電、LED 照明の導入」「夏季軽装(クールビズ)」

【原則5】

〔節電、LED 照明の導入〕

店舗における電気の使用量を可能な限り抑えるため、経済産業省で示す「オフィスビルの節電メニュー」で示す内容に基づき、全部店が節電の取り組みを実施しました。また、営業店の一部および本部ビルオフィス内に LED 照明を導入し、省エネルギー化に取り組んでおります。

〔夏季軽装 (クールビズ)〕

2020 年 5 月 1 日～2020 年 9 月 30 日までの期間、夏季軽装を実施しています。期間中、冷房温度を 28 度(営業店 26 度)に設定し、男子職員は原則、ノー上着・ノーネクタイ、女子職員はリボンタイを非着用としています。

253-FY2020-04

自然保護等の社会貢献活動「ろうきん森の学校」

【原則7】

労働金庫連合会の 50 周年記念事業として、里山再生を通じた人づくりをテーマに全国 5 箇所で実施する「森の学校」で、福島県いわき市「湯の岳の山荘」が選ばれ、NPO 法人「いわきの森に親しむ会」との協働により、自然観察会、間伐、炭焼き等の自然体験を通じ、環境普及を図っています。

【特徴】

「ろうきん森の学校」は 2005 年よりスタートし、森での楽しい活動を通じ、多くの人が「森に興味を持ち」「森を大切にする」気持ちを育むことで個人のライフスタイルを見直すきっかけを作る活動で、今般「国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する連携事業に認定されました。2015 年度から第Ⅱ期がスタートし、新たに 2 地区を加え、全国 5 地区で次の 3 つを柱に活動しています。

- ① 森を育む（＝植樹・間伐・下草刈り等の森林整備作業）
- ② 人を育む（＝森林作業・自然体験のリーダー育成）
- ③ 森で遊ぶ（＝里山での自然体験プログラム開発および実施）

2019 年度は延べ 7507 名の参加をいただきました。

253-FY2020-05

自然保護等の社会貢献活動「ふれ愛の森ロッキー」

【原則7】

森林資源の維持増進と自然環境の保全を図るとともに、会員をはじめ市民の皆様の自然とのふれあいの場、各種レクリエーションの場として活用いただくことを目的に、1998 年に西蔵王にオープンしております。森林内には、スギ、ブナ、ナラ、カエデ、クリ、サクラ等、約 32,000 本が生い茂り、自然を満喫しながら散策できる遊歩道があります。

253-FY2020-06

東北 6 県生活協同組合連合会との「緊急災害対策等に係る相互連携協定」の締結

【原則3】

当金庫と青森県生活協同組合連合会・岩手県生活協同組合連合会・宮城県生活協同組合連合会・秋田県生活協同組合連合会・山形県生活協同組合連合会・福島県生活協同組合連合会は、大規模自然災害発生時における地域への支援活動について、協同組合間の相互連携を図り、復旧・復興への取組みをすすめるため、協定を締結しています。

■ 浜松いわた信用金庫

287-FY2020-01

環境に配慮した包装素材への代替

【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

浜松いわた信用金庫は、サービス品包装用の袋（2種類）を従来のプラスチック製から環境に配慮したバイオマスプラスチック製に変更しました。当金庫は、SDGsを経営理念の根幹に据え、ユニバーサルバリュー宣言（SDGs行動宣言）を公表しており、同宣言の「2. 地域を大切にする」「3. 地域への取組みを通じて世界の課題と向き合う」における地域の環境保全、地球温暖化防止等の具体的な取組みとなります。

【特徴】

袋の表面：ゴール1 2. つくる責任つかう責任

袋の裏面：ゴール1 3. 気候変動に具体的な対策を

袋の両面：「バイオマスプラスチックとは？」の解説と素材の説明

以上の印刷と配布時の一言から、SDGsの理解、環境への配慮等の普及啓発につなげています。

287-FY2020-02

FSC 認証材の活用

【原則1】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

浜松いわた信用金庫は、新型コロナウイルス対策製品として FSC 認証材を活用したアクリル製パーテーションを本部・営業店の一部で採用しています。また、同商品は当金庫取引先業者に作製依頼するとともに、地域企業にも FSC 認証材の普及、活用を呼び掛けています。

287-FY2020-03

環境に配慮した顧客配布用粗品への切替え

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

浜松いわた信用金庫は、顧客へ配布する粗品を素材変更等にて環境に配慮したものに切り替えました。また、同粗品には環境配慮素材の説明等を行い、環境意識の向上につなげております。

(例)

- ・メモ帳、ボックスティッシュ、お年玉袋、カレンダー3種 ... FSC 認証紙へ切替
- ・キッチンパック ... バイオマスプラスチック製へ切替
- ・トイレットペーパー ... 再生紙100%製品へ切替
- ・ラップ ... エコレーンマーク製品へ切替 など

287-FY2020-04

ユニバーサルバリュー宣言(SDGs 行動宣言)の公表

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

2019年1月、浜松いわた信用金庫は、国際連合が提唱する国際社会全体の目標であるSDGsの達成に貢献することを経営理念の根幹に位置付け、広く社会課題の解決に取り組むとともに、自らも持続的成長を目指していくことを宣言しました。

1. 人を大切にする

働き方改革、ワークライフバランス向上、ダイバーシティ推進等、全ての人が個性と能力を十分に発揮できる働きがいのある職場づくりに努めます。

また、金融仲介機能の発揮を通じて人権保護、社会的弱者支援等の社会的課題の解決に貢献します。

2. 地域を大切にする

地域産業成長へのコミットメント、お取引先企業の付加価値向上、お客様の豊かな生活の実現等、地域の魅力や価値を創出することで、地域・お取引先・当金庫それぞれの持続的な成長を目指します。

また、地域の環境保全や災害対策強化に取り組むことで、住み続けられる街づくりに貢献します。

3. 地域への取組みを通じて世界の課題と向き合う

金融仲介機能の発揮を通じて、地球温暖化防止、生物多様性保全等、世界的な課題の解決に貢献するとともに、地域における具体的な取組みを進めます。

4. 取組みの裾野を広げる

お取引先や金庫役職員における SDGs の認知度・理解度の向上に努めるとともに、お取引先の SDGs への取組みを支援することを通じて、取組みの裾野の拡大を目指します。

■ 鹿児島相互信用金庫

293-FY2020-01

SDGs へのコミットメント

【原則1】

2018年10月、これまで、地域のための協同組織金融機関として取組んできた実績と経験をもとに、更なる地域の社会課題、経済課題、環境課題の解決に取組み、「持続可能な地域社会の実現に貢献すること」及び「地域の各主体とのパートナーシップの下、SDGsの普及に努めること」を目的として「そうしんSDGs宣言」を表明しました。

【特徴】

SDGsの取組みに関する宣言を表明したのは、九州の金融機関を含む企業体として、また全国の信用金庫でも初の取組みとなりました。

293-FY2020-02

持続可能な地域社会に貢献する中小企業の育成・支援

【原則2】

地域経済の発展・振興等に優れた成果をあげた企業・団体を表彰し、地元中小企業の発展・育成に寄与することを目的として「そうしんビジネス・イノベーション大賞」を開催しています。

【特徴】

2019年度は新たに「SDGs部門」を設け、SDGsの達成に資する優れた経済活動を行う企業・団体を表彰し、当該企業・団体の活動を支援するとともに、鹿児島県内企業に対するSDGsの普及促進を図っています。

293-FY2020-03

持続可能な地域社会に貢献する事業者の創業・成長支援

【原則2】

鹿児島県にとって重要である一方で、廃業率が高いという課題がある「飲食業」の創業や成長を支援するため、2019年9月から飲食業に特化した創業支援プログラム「そうしん食の起業家養成アカデミー」を実施しています。鹿児島県内の各専門家による講義のほか、創業前のフードトラックによるトライアルなど、研修と実践の場を提供により事業者の創業・成長を支援します。

293-FY2020-04

環境配慮や福祉に配慮した商品の提供

【原則2】

エコ・カーライフプラン、エコ・ローン、エコ・リフォームプランなどのローンや、「がんから守る」定期預金、子育て支援積金（ハローキッズ元気積金）など、環境や福祉に配慮した商品の提供を行っています。また、2019年11月には、SDGsの趣旨に基づき、環境保全や社会課題の解決に繋がる事業を行う事業者向けの専用商品として「SDGsアシストローン」の提供を開始しています。

293-FY2020-05

自治体と連携した地域課題の解決に向けた商品・サービスの提供

【原則1】【原則4】

人口減少・少子高齢化問題（長島町ぶり奨学プログラム、大崎町リサイクル未来創生奨学パッケージ、南大隅町ネッピー・みさきちゃん奨学ローン）や空き家問題（長島大陸空き家活用ローン、長島大陸空き家活用つなぎローン、西之表市移住・定住促進ローン）など、自治体と連携して地域課題の解決に取り組むとともに、商品・サービスの提供を行っています。

【特徴】

自治体と連携して地域課題を解決するため、自治体が専用に制度設計した補助金や利子補給制度等の活用を前提に金融機関の「ファイナンス」の仕組みをアレンジして提供しています。

また、金融機関の保有するネットワーク力を活かし、自治体だけではなく、大学、企業など、様々なステークホルダーとのパートナーシップも意識した地域課題解決に資する活動を行っています。

293-FY2020-06

環境・福祉に配慮した店舗づくり・設備の導入

【原則5】

太陽光発電や地熱空調システムなどの環境への配慮やバリアフリーや多目的トイレなど高齢者やお子様連れにも優しい店舗づくりを順次行っています。

2020年7月には環境にやさしい超小型EV「コムス」を導入し、営業活動中の環境負荷低減に努めるとともに、同車両にSDGsロゴを表示することで鹿児島県内におけるSDGsの普及促進を図っています。

293-FY2020-07

持続可能な地域社会に貢献するための役職員の意識向上

【原則6】【原則7】

2019年4月、役職員のSDGsへの理解促進、意識向上を図ることを目的として、全役職員が達成を目指す「My SDGs宣言」を行いました。

【特徴】

取組「SDGsへのコミットメントと普及促進活動」のとおり、薩摩川内市とのパートナーシップで実現した「竹SDGsバッジ」を身につけるとともに、役職員の名刺にSDGsロゴをあしらうことで、お客様への挨拶時にSDGsに関するコミュニケーションの機会を確保しています。

293-FY2020-08

地域の各主体とのパートナーシップによるSDGsの普及促進活動

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

自治体とのパートナーシップの下で行うSDGs普及活動としては、錦江町立大根占小学校において「SDGsの視点を取り入れた小学生向けワークショップ」を実施したほか、薩摩川内市と連携し、鹿児島県の地域資源でもあり地域課題でもある「竹」を活用した「竹SDGsバッジ」を製作。薩摩川内市及び同市企業等において着用しながら普及活動に取り組んでいます。

また企業とのパートナーシップによる普及活動として、当金庫取引先で組織する外郭団体と当金庫で「SDGs共同宣言」を行っています。

さらに、各店の取引先とも個別に「SDGs共同宣言」を行い、共同宣言した活動を店頭に掲示して宣言、積極的に情報開示することで、取引先に加え一般のお客さまにもSDGsの普及を図っています。

【特徴】

地域のステークホルダーとのパートナーシップによる普及活動においては、信用金庫が保有している「地域におけるネットワーク」というリソースを活用し、自治体や企業と連携して取り組んでいます。

■ 京都中央信用金庫

296-FY2020-01

環境方針の制定、環境マネジメントシステムの運用

【原則1】

風光明媚な世界有数の観光都市、そして京都議定書採択の地である“京都”を地盤とする信用金庫として、“On Your Side ～ 地球がうれしい ～”をスローガンに、「環境方針」（2009 年 10 月制定）に基づく環境マネジメントシステム（ISO14001 認証取得）の運用により、環境に配慮した事業活動を展開し、地域社会ひいては地球全体の環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組んでいます。

296-FY2020-02

エコ関連商品

【原則2】

融資商品として「中信スーパーエコローン／再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用した売電や省エネ設備導入資金」、「中信 SDGs サポートローン／SDGs 取組資金」、投資信託として「損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）／環境対策に取り組むエコファンド」、「しんきん SRI ファンド／企業の社会的責任に着目し投資するファンド」等を取扱っています。

296-FY2020-03

地域清掃活動

【原則4】

「ゴミゼロの日／全店一斉ボランティア清掃」の実施や、「琵琶湖一斉清掃」「びわ湖の日」「環境美化の日」等への参加を通じて、一人ひとりが環境やゴミ問題に関心を持ち、地球にやさしい街づくりを考え、行動する機会としています。

296-FY2020-04

環境配慮型店舗

【原則5】

カーボン・ニュートラルに向けて、新設・建替店舗は、太陽光発電・全館 LED 照明・照度センサー・人感センサー・高効率空調・Low-E ガラス、屋上緑化 等を導入し、「環境配慮型店舗」として展開しています。

296-FY2020-05

eco 検定受験推奨、eco 実践

【原則7】

環境問題への理解と対応を高める一助として「eco 検定」の受験を推奨し、「クールビズ・ウォームビズ、ライトダウン・リフレッシュ Day、ペーパーレス、ゴミの分別、制服のリサイクル」等の省エネ・省資源化を推進しています。